

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業						
担当部課	総合政策部離島振興課		事業実施年度		令和元年度～令和5年度		
事業主体	奄美群島12市町村		実施市町村名		奄美群島12市町村		
事業分類	① 農林水産物の輸送に要する費用の低廉化に関する事業 ⑦カ 奄美群島において製造された加工品の移出並びに生産される農林水産物及び製造される加工品に係る原材料等の移入に要する費用の低廉化に関する事業					交付率	7/10、5/10
事業内容	奄美群島における農林水産物等の輸送コストの負担軽減を図るため、本土と比べ割高となっている農林水産物等の輸送費の一部助成を行う						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	780,267	819,969	815,944	818,702	818,793
		補正予算	▲ 85,936	▲ 151,648	▲ 180,848	▲ 127,424	▲ 215,728
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	694,331	668,321	635,096	691,278	603,065
	執行額		589,327	528,975	519,526	656,907	593,599
	執行率		84.9%	79.1%	81.8%	95.0%	98.4%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(農林水産物、t数) ②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花卉、千本) ③奄美地域における製造品出荷額(百万円)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		—	—	① 55,481t ② 56,156千本 ③ 21,531百万円	—	① 55,512t ② 56,156千本 ③ 21,937百万円
	実 績		① 44,154t ② 46,736千本 ③ 21,028百万円	① 39,863t ② 43,376千本 ③ 22,376百万円	① 34,509t ② 42,298千本 ③ 22,576百万円	① 25,461t ② 48,567千本 ③ 25,054百万円	① 30,940t ② 50,706千本 ③ 23,770百万円
	達成度		—	—	① 62.2% ② 75.3% ③ 105.0%	—	① 55.7% ② 90.3% ③ 108.4%
	達成状況 の評価		【R元年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。				
			【R2年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが、コロナ禍の影響も有り出荷量が減少した。				
			【R3年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られたが、農産物については、天候不良による収穫の遅れ、林産物、水産物については、新型コロナウイルスの影響により出荷量が減少した。				
			【R4年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。				
			【R5年度】 農林水産物等の輸送コストの支援により、共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し、出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。				
今後の取組方針	奄振法の改正に伴い、令和6年度から、奄美群島一沖縄間の輸送コストが支援の対象に追加されたほか、畜産物の移出対象品目への追加や生産支援に係る移入の対象品目数が3品目から5品目に拡大されるなど、制度拡充が行われた。 今後、市町村等との連携を強化し、補助対象者の生産振興計画に基づいた取組の着実な実施による、生産振興や産業振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航空運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算	1,243,883	1,165,258	1,078,198	1,078,198	1,078,198
		補正予算	▲ 36,393	▲ 478,662	▲ 277,111	▲ 110,111	▲ 89,111
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
		計	1,207,490	686,596	801,087	968,087	989,087
	執行額		1,136,273	590,016	742,050	967,297	918,989
	執行率		94.1%	85.9%	92.6%	99.9%	92.9%
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		対象路線における航空輸送旅客利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		—	—	677千人 (中間目標値)	—	721千人 (最終目標値)
	実 績		577千人	350千人	428千人	541千人	598千人
	達成度		—	—	63.2%	—	82.9%
	達成状況の評価		【R元年度】 新型コロナウイルスの影響もあり、対象路線における利用者数は対前年度比で減少となったが、引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は対前年度比で大きく減少したが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加した。また、同影響により、中間目標達成度は63%であったが、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
			【R4年度】 新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加し、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
			【R5年度】 対令和元年度比、対前年度比ともに増加したが、最終目標達成度は83%となった。引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。				
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島航路運賃軽減事業						
担当部課	総合政策部交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑥ 航路及び航空路における人の往来に要する費用の低廉化に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美群島における割高な移動コストを軽減することにより、離島住民、準住民等の負担軽減を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算	281,706	235,256	293,019	284,982	284,982
		補正予算	▲ 54,160	▲ 106,040	▲ 109,620	▲ 57,242	▲ 26,492
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
	計		227,546	129,216	183,399	227,740	258,490
	執行額		201,309	115,582	166,143	219,936	247,053
	執行率		88.5%	89.4%	90.6%	96.6%	95.6%
	成果目標及び達成状況	アウトカム指標		対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標		136千人	136千人	136千人 (中間目標値)	136千人	136千人 (最終目標値)	
実 績		125千人	63千人	76千人	100千人	113千人	
達成度		91.9%	46.3%	55.9%	73.5%	83.1%	
達成状況の評価		【R元年度】 引き続き、多くの奄美群島住民等の負担軽減が図られている。(台風による欠航増加やコロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。)					
		【R2年度】 奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は対前年度で減少となっている。					
		【R3年度】 奄美群島住民等の負担軽減が図られているが、コロナの影響等により利用実績は伸び悩んでいる。					
		【R4年度】 コロナ禍後、利用実績は回復傾向にあり、奄美群島住民等の負担軽減が図られているものの、未だコロナ禍前の水準までは回復していない。					
		【R5年度】 コロナ禍後、利用実績は回復傾向にあり、奄美群島住民等の負担軽減が図られているものの、未だコロナ禍前の水準までは回復していない。					
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美群島誘客・周遊促進事業(R4～) ②奄美群島交流需要喚起対策特別事業(～R3)						
担当部課	総合政策部交通政策課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた入込客数の回復に加え、奄美群島全体への周遊促進、外国人観光客の受入、DX等新技術の活用等によりサステナブルツーリズムの推進を図る。 ②奄美群島の交流人口拡大に向けて、運賃等の移動コストの軽減に係る試験的取組等を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース	予算 の 状 況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		当初予算	285,096	276,876	271,208	120,803	120,803
		補正予算	0	140,000	140,000	92,500	46,250
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
		計	285,096	416,876	411,208	213,303	167,053
	執行額		263,363	395,458	391,421	212,800	166,550
	執行率		92.4%	94.9%	95.2%	99.8%	99.7%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		—	—	(航空)422千人 (航路)148千人 (中間目標値)	—	(航空)450千人 (航路)151千人 (最終目標値)
	実 績		(航空)338千人 (航路)109千人	(航空)171千人 (航路) 54千人	(航空)273千人 (航路) 62千人	(航空)371千人 (航路) 82千人	(航空)377千人 (航路) 93千人
	達成度		—	—	(航空)64.7% (航路)41.9%	—	(航空)83.8% (航路)61.6%
	達成状況 の評価		【R元年度】 新型コロナウイルスの影響や、航空路では事業者の経営統合に伴い対象路線で一定期間の運休が生じたこともあり、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で減少となったが、通年での交流が図られた。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度で大きく減少したが、通年での交流が図られた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度は減少したが、対前年度は増加した。また、同影響により、中間目標達成度は航空:65%、航路42%であったが、通年での交流が図られた。				
			【R4年度】 対令和元年度比、対前年度比ともに増加し、通年での交流が図られた。				
			【R5年度】 対令和元年度比、対前年度比ともに増加し、最終目標達成度は航空:83.8%、航路:61.6%であったが、通年での交流が図られた。				
今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた広報宣伝等に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美群島持続可能な観光推進事業(R5) ②奄美群島周遊観光促進事業(R4)						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	世界自然遺産登録によって観光客の増加が見込まれるなか、その効果を奄美群島全体に波及させるとともに、1島集中によるオーバーツーリズムを抑制するため、奄美群島国立公園のブランドイメージを創出し、各国の魅力を積極的にPRすることで群島内の周遊観光を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				150,000	131,998
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	150,000	131,998
	執行額					149,975	131,983
	執行率		—	—	—	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美大島を除いた4島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:千人]						377
	実 績 [単位:千人]					271	330
	達成度						87.5%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 世界自然遺産登録による観光客増加を奄美群島全体に波及させるため、各島の魅力をPRするとともに、旅行会社が造成・販売する奄美群島への旅行商品に対し、割引助成を行い、また東京、大阪及び福岡地域の駅構内等のモニターにおけるメディア広告も実施した。				
			【R5年度】 世界自然遺産登録地域を含む奄美群島国立公園地域において、持続的なまちづくりを実現するため、持続可能な観光を推進し、群島全体の観光客数を確保するとともに、データの集積・分析・活用することで、奄美群島全体の活性化を図ることを目的とし、各島の持続可能な観光に関する取組を積極的にPRするとともに、旅行代金の割引を実施した。また、クーポン券を配布することで消費意欲にも繋げた。				
今後の取組方針	観光による持続的なまちづくりを実現するため、観光客の動態データの取得実証等を行い、奄美大島だけでなく、群島全体の観光客数を確保することで、奄美群島全体の活性化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島誘客・周遊促進事業（「奄美・沖縄」世界自然遺産登録観光連携事業）						
担当部課	PR観光課	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	世界自然遺産登録に向けてこれまで実施してきたルートづくりや自然環境の保全と持続的利用を考慮した情報発信ツールの整備を踏まえ、「世界自然遺産」を目的とした誘客や周辺地域への効果の波及を図るため、旅行商品造成の促進やプロモーションを沖縄県と共同で実施し、国内外からの持続的な誘客を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算				5,000	5,000
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	-	5,000	5,000
	執行額					5,000	5,000
	執行率		-	-	-	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	関東、関西及び沖縄から奄美群島への入込客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標					293,101人	341,031人
	実 績					208,691人	244,574人
	達成度					71.2%	71.7%
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
		【R4年度】 これまで実施してきたルートづくり等を踏まえ、地元ガイド等と連携しながらWEBサイト及びイベントを活用したプロモーションや旅行商品造成の促進に取り組み、レスポンシブルツーリズムを推進した。また、世界自然遺産登録に伴うパンフレット等のツール及びWEBサイトに係るワンレポートシステムの構築を実施した。					
		【R5年度】 日頃から「奄美・沖縄」に関心を持つ層及び世界自然遺産や自然へ興味・関心がある層に対して、「奄美・沖縄」WEBサイトを活用し各エリアの魅力発信を行うことで、来訪意欲を高めるとともにレスポンシブルツーリズムの推進へつなげることができた。					
今後の取組方針	令和5年度事業で提案されたベルソナ（奄美・沖縄や自然環境に興味・関心がある層）に対して、旅行促進につながるプロモーション等を検討・実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美・沖縄連携交流促進事業						
担当部課	総合政策部交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島と沖縄という歴史的・文化的につながりの深い両地域における調和ある振興のために、移動コストを軽減し、両地域の住民等の交流を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	98,848	79,768	78,343	81,680	81,680
		補正予算	▲ 20,623	▲ 40,427	▲ 29,280	▲ 17,028	▲ 21,714
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0	0	0	0	0
		その他増減	0	0	0	0	0
	計		78,225	39,341	49,063	64,652	59,966
	執行額		73,629	29,257	40,367	61,133	51,131
	執行率		94.1%	74.4%	82.3%	94.6%	85.3%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		対象路線における航空輸送旅客利用者数 対象路線における航路輸送旅客利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		—	—	(航空)60千人 (航路)76千人 (中間目標値)	—	(航空)64千人 (航路)78千人 (最終目標値)
	実 績		(航空)74千人 (航路)62千人	(航空)36千人 (航路)22千人	(航空)46千人 (航路)27千人	(航空)67千人 (航路)43千人	(航空)80千人 (航路)50千人
	達成度		—	—	(航空)76.7% (航路)35.5%	—	(航空)125.0% (航路) 64.1%
	達成状況 の評価		【R元年度】 新型コロナウイルスの影響もあり、航路においては対象路線における利用者数は対前年度比で減少となったが、両地域の交流が図られた。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、対象路線における利用者数は航空・航路ともに対前年度比で大きく減少したが、両地域の交流が図られた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加した。また、同影響により、中間目標達成度は航空：77%、航路36%であったが、両地域の交流が図られた。				
			【R4年度】 新型コロナウイルスの影響もあり、対令和元年度比は減少したが、対前年度比は増加し、両地域の交流が図られた。				
			【R5年度】 対令和元年度比、対前年度比ともに増加し、最終目標達成度は航空：125.0%、航路：64.1%であったが、通年での交流が図られた。				
今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	水産資源利用開発調査						
担当部課	商工労働水産部 水産振興課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	鹿児島県		実施市町村名				
事業分類	⑦-オ 林業及び水産業の振興に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美群島の水産業振興を図るため、沿岸域で藻場造成や栽培漁業、ソデイカ漁を効率的に操業するための技術開発試験や調査等を行うとともに、地域水産物の鮮度保持技術の開発や未・低利用資源の加工品開発のための調査等を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	6,207	4,040	3,270	2,670	2,670
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		6,207	4,040	3,270	2,670	2,670
	執行額		6,146	3,450	2,499	2,668	2,670
	執行率		99.0%	85.4%	76.4%	99.9%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		海面漁業の生産額				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:百万円]		10,170		10,329		10,382
	実 績 [単位:百万円]		8,946	8,507	8,984	10,840	8,843
	達成度		88.0%		87.0%		85.2%
	達成状況 の評価		【R元年度】 カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約88%となった。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染拡大による需要低下がみられた。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約87%となった。				
			【R4年度】 新型コロナウイルス感染症の影響緩和による需要の増加がみられた。				
			【R5年度】 豪雨等の自然災害や物価高等による飼料代の高騰などにより生産量が減少し、目標値の85.2%となった。				
今後の取組方針	地域特産種の資源増大や藻場造成、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美世界自然遺産保全・活用推進事業(R4～) ②奄美世界自然遺産「奄美」保全・活用事業(～R3)						
担当部課	環境林務部 自然保護課 奄美世界自然遺産室	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	奄美群島一円				
事業分類	⑦一エ 自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	奄美の世界自然遺産登録後の適切な保全・管理に向けて自然環境の保全と利用の両立など必要な取り組みを推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	110,977	135,754	52,077	53,114	45,392
		補正予算	▲ 6,000	▲ 39,519	▲ 13,553		
		前年度繰越	64,960	52,260	45,328	5,234	17,176
		翌年度繰越	▲ 52,260	▲ 45,328	▲ 5,234	▲ 17,176	
		その他増減					
		計	117,677	103,167	78,618	41,172	62,568
		執行額	97,957	80,282	66,295	35,952	61,890
		執行率	83.2%	77.8%	84.3%	87.3%	98.9%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標		115人 (中間目標値)			160人 (最終目標値)	
	実 績	109人	133人	147人	161人	176人	
	達成度	—	115.7%			110.0%	
	達成状況 の評価	【R元年度】 世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用ルールの運用や奄美トレイルのルート選定・開通イベント、世界自然遺産登録の気運醸成を図るためのシンポジウム、IUCNの現地調査対応等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。					
		【R2年度】 世界自然遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立、気運の醸成のための検討・取組として、金作原などの推薦地域等での利用ルールの運用や奄美トレイルの全線開通イベント(R3年1月全線開通)、世界自然遺産登録の気運醸成を図るため県庁前にPR看板設置、奄美空港にPR広告掲示等を実施し、世界自然遺産登録に向けて取り組んだ。					
		【R3年度】 令和3年7月26日「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されたことから登録記念イベント等を行い気運の醸成を図った。また、登録時に出された世界遺産委員会の要請事項への対応を行うとともに世界自然遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立を図るため、金作原など利用ルールの運用や外国人利用者に奄美トレイルの理解を深めてもらうために情報発信媒体の英訳を行うなど利用促進に取り組んだ。					
		【R4年度】 世界自然遺産登録の1周年を記念したイベントを行い気運の醸成を図った。また、登録時に提出するとともに、世界自然遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立を図るため、金作原など利用ルールの運用や外国人利用者に奄美トレイルの理解を深めてもらうために情報発信媒体の英訳を行うなど利用促進に取り組んだ。					
		【R5年度】 世界遺産委員会からの要請事項への対応を図るとともに、金作原など保護が重要な地域における利用ルールの運用や「世界自然遺産奄美トレイル」の認知度向上のため県観光サイトへの特集ページを作成、世界自然遺産に登録されている奄美大島、徳之島、屋久島の高校生を対象とした自然体験型交流学习などに取り組んだ。					
今後の取組方針	奄美大島、徳之島の世界自然遺産登録地域の適切な保全・管理に向けて、遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ駆除対策事業)						
担当部課	保健福祉部薬務課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	鹿児島県		実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島			
事業分類	⑦ ア ハブ咬(こう)傷の予防及び治療に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	住民の安全な生活環境を確保するとともに、世界自然遺産登録後の取組等も視野に入れ、ハブの個体群調査と人との関わり合いを調査し、計画的なハブの駆除方法と、ハブの棲み分け(共存)を検討する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	3,820	3,846	3,410	3,362	2,753
		補正予算		▲ 143	▲ 152	▲ 226	11
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		3,820	3,703	3,258	3,136	2,764
	執行額		3,718	3,415	3,073	3,078	2,736
	執行率		97.3%	92.2%	94.3%	98.2%	99.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ハブ咬傷者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		55以下	55以下	45以下	45以下 (中間目標値)	45以下 (最終目標値)
	実 績		44	29	34	43	37
	達成度		目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成
	達成状況 の評価		【R元年度】 咬傷者数は44人で、目標を達成した。				
			【R2年度】 咬傷者数は34人で、目標を達成した。				
			【R3年度】 咬傷者数は29人で、目標を達成した。				
			【R4年度】 咬傷者数は43人で、目標を達成した。				
			【R5年度】 咬傷者数は37人で、目標を達成した。				
今後の取組方針	ハブ咬傷者数40人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハブ対策事業 (ハブ咬症対策事業)							
担当部課	保健福祉部薬務課		事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県		実施市町村名	奄美大島・加計呂麻島・請島・与路島・徳之島				
事業分類	⑦ ア ハブ咬(こう)傷の予防及び治療に関する事業				交付率	5/10		
事業内容	住人が安心して生活し活動するために、ハブの咬症及び治療対策に万全を期し、住民の保健医療の向上に寄与する。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース	予算 の 状 況		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			当初予算	17,098	4,347	1,302	5,101	5,225
			補正予算	▲ 4,426	▲ 173	▲ 114	▲ 216	▲ 110
			前年度繰越					
			翌年度繰越					
			その他増減					
			計	12,672	4,174	1,188	4,885	5,115
			執行額	12,518	3,953	946	4,746	5,092
			執行率	98.8%	94.7%	79.6%	97.2%	99.6%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ハブ咬傷による死亡者数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標		0	0	0	0 (中間目標値)	0 (最終目標値)	
	実 績		0	0	0	0	0	
	達成度		目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	目標達成	
	達成状況 の評価		【R元年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
			【R2年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
			【R3年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
			【R4年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
			【R5年度】 ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。					
今後の取組方針	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援推進事業						
担当部課	農政部農政課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名	—				
事業分類	農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美地域の食文化を支える伝統野菜や果樹の生産性向上を図り、供給力を高めるとともに、農家の所得向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	563	642	650	722	757
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	563	642	650	722	757
	執行額		553	606	603	641	627
	執行率		98.2%	94.4%	92.8%	88.8%	82.8%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		① 奄美の伝統野菜 葉にんにくの生産性向上(単収増加) ② 奄美の島野菜 島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③ 奄美プラム(カリ)の生産性向上(大玉系統の栽培面積拡大)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		—	—	① 810kg/10a ② 700kg/10a ③ 27ha	① — ② — ③ 27ha	① 920kg/10a ② 900kg/10a ③ 30ha
	実 績		—	① — ② — ③ 29.7ha	① — ② — ③ 31.7ha	① — ② — ③ 33.8ha	① 922kg/10a ② 957kg/10a ③ 33.8ha
	達成度		—	—	① — ② — ③ 117.4%	① — ② — ③ 125.2%	① 100.2% ② 106.3% ③ 112.7%
	達成状況 の評価		【R元年度】 葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖及び奄美プラム新系統の早期育成方法試験用の苗木 植栽・各種調査、高品質果実生産技術検討のためのほ場選定等を行った。令和元年度について は、アウトカム指標の実績となる数値なし。				
			【R2年度】 葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうの優良系統の選抜を行った。アウトカムの 実績となる数値なし。 奄美プラムは、台木に穂木を次いで363本植え付けた(2.0ha:18本/10aで積算)。				
			【R3年度】 葉にんにくのウイルスフリー種球の増殖、島らっきょうのウイルスフリー種球の作出および増殖 を行った。R5年度に現地供給予定のため、R3年度はアウトカム指標の実績となる数値なし。 奄美プラムは、大玉新系統の生産安定のための施肥試験および生育調査を行った。また、台 木に穂木を次いで355本植え付けた(約2.0ha:18本/10aで積算)。				
			【R4年度】 葉にんにく及び島らっきょうのウイルスフリー種球の作出および増殖を行った。R5年度に現地 供給予定のため、アウトカム指標の実績となる数値なし。 奄美プラムは、大玉新系統の生産安定のための施肥試験および生育調査を行った。また、台 木に穂木を接いで377本植え付けた(約2.0ha:18本/10aで積算)。				
			【R5年度】 葉にんにく及び島らっきょうの優良系統のウイルスフリー苗は、いずれも在来系統より増収する ことを認めた。 奄美プラム(大玉系統)の施肥試験により、開花不良を軽減できる施肥体系等の試験結果が得 られ、生産安定対策マニュアルを作成した。				
今後の取組方針		マンゴーでは、気象条件等により島外へ出荷できなくなる流通条件の不利性、えだまめでは重粘土壌における栽培の 不安定性がそれぞれ課題となっており、改善に向けた検討を行う必要がある。このため、出荷調整を行いやすいマン ゴーの品種の検討や、重粘土壌におけるえだまめの栽培技術の確立を行い、出荷の安定化や生産安定・拡大を図ると ともに農家所得の向上を目指す。					

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	さとうきび産地活性化事業(さとうきび機械導入等支援事業)						
担当部課	農政部農産園芸課		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	鹿児島県		実施市町村名	奄美群島一円			
事業分類	②農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、作業受託組織等を対象に機械整備等の支援を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算			31,830	33,840	37,093
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		-	-	31,830	33,840	37,093
	執行額				30,569	31,713	31,590
	執行率		-	-	96.0%	93.7%	85.2%
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		適期管理による単収の向上(kg/10a)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標				5,737	5,737	5,737
	実 績				5,333	5,231	5,217
	達成度				92.3%	91.2%	90.9%
	達成状況の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】 機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られた。					
		【R4年度】 機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られた。					
		【R5年度】 機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られた。					
今後の取組方針	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、引き続き、作業受託組織等を対象に新規機械導入や機能向上の支援を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美パーク展示等リニューアル事業						
担当部課	観光・文化スポーツ部PR観光課	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	鹿児島県	実施市町村名					
事業分類	④観光客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5／10	
事業内容	奄美群島の観光・情報発信の拠点施設である奄美パークについて、世界自然遺産登録を見据えた改修を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	-	15,982	-	-	122,733
		補正予算	120,000	153,983	54,250	-	-
		前年度繰越	131,642	120,000	167,049	92,660	-
		翌年度繰越	▲ 120,000	▲ 167,049	▲ 92,660	-	▲ 80,933
		その他増減					
	計		131,642	122,916	128,639	92,660	41,800
	執行額		131,165	122,515	111,066	89,007	41,790
	執行率		99.6%	99.7%	86.3%	96.1%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島の宿泊観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標					810千人 (中間目標値)	1,000千人 (最終目標値)
	実 績		917千人	602千人	692千人	749千人	984千人
	達成度		—	—	—	92.5%	98.4%
	達成状況 の評価		【R元年度】 目標を達成しているが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、目標を達成できなかったが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響により、目標を達成できなかったが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
			【R4年度】 新型コロナウイルスの影響により、目標を達成できなかったが、奄美群島の更なる観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
			【R5年度】 わずかに目標を達成できなかったが、奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
今後の取組方針	奄美大島が世界自然遺産に登録され、情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから、引き続き着実に事業の推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	農業創出緊急支援事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村、営農集団等		実施市町村名	奄美市外7町			
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10、6/10	
事業内容	奄美群島の特性に即した農業振興のため、付加価値の高い農業の推進と、台風災害に強い施設等の整備を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	164,383	451,663	174,238	53,911	302,046
		補正予算	456,499	40,753	230,478	0	174,879
		前年度繰越	0	473,928	421,000	441,784	68,461
		翌年度繰越	▲ 473,928	▲ 421,000	▲ 380,274	▲ 50,210	▲ 273,157
		その他増減					
		計	146,954	545,344	445,442	445,485	272,229
	執行額		141,386	351,694	342,494	445,339	271,096
	執行率		96.2%	64.5%	76.9%	100.0%	99.6%
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島の農業産出額の増加			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 〔単位:百万円〕		36,942	39,052			40,636	
実 績 〔単位:百万円〕		30,188	32,485	32,821			
達成度		82%	83%				
達成状況 の評価		【R元年度】※目標値は平成28年度数値 平成30年度(29、118百万円)に比べ、103.6%に増加したものの、基準値の82%となった。引き続き本事業により、付加価値の高い農業と、台風災害に強い施設等の整備を推進し、農業算出額の増加を図る必要がある。					
		【R2年度】 令和元年度に比べ、107.6%に増加したものの、基準値の83%となった。引き続き本事業の推進により農業算出額の増加を図る必要がある。 また、新型コロナウイルスの影響等により農業機械等の納入に遅れが生じ、執行率は令和元年度に比べ低くなっている。					
		【R3年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定 新型コロナウイルスの影響により農業機械等の納入に遅れが生じ、執行率は令和2年度同様低くなっている。					
		【R4年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定 新型コロナウイルスの影響により農業機械等の納入に遅れが生じ、前年度より繰越した事業の執行に努め、執行率は改善している。					
		【R5年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定 年度内での事業の執行に努め、99.6%と高い執行率となっている。					
今後の取組方針	引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	魅力ある観光立島促進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	世界自然遺産登録などの機運をしっかりとらえ、今後の持続可能な離島振興のため、奄美重点3分野の一つである「観光・交流」について官民が連携して誘客・受入体制強化に取り組む。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				9,400	9,581
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	9,400	9,581
	執行額					7,132	9,480
	執行率		—	—	—	75.9%	98.9%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美大島への入込客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]					420,000	530,000
	実 績 [単位:人]			311,000		414,798	493,531
	達成度					98.7%	93.1%
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
		【R4年度】 新型コロナによる行動の規制が続く中、令和3年の世界自然遺産登録や国の旅行支援等の実施により、奄美大島への入込客数は持ち直しており、観光客受け入れ体制の充実に向け、インバウンドの受入体制及び新たな旅のスタイルとして需要が高まったワーケーションの受入体制の整備に対する助成等を行った。					
		【R5年度】 クルーズ船寄港回数がコロナ禍以前の水準に回復。昨年に引き続き、増加する外国人観光客やワーケーション需要に対応できるよう、多言語化やWifi整備に対する助成等を行った。					
今後の取組方針	新型コロナによる行動制限が解除され、入込客数も回復傾向であることから、今後はこれまで実施してきた受入体制整備を活かしながら、貴重な自然環境について周知、理解を促進することで、環境の保全と利用の両立を図り、インバウンドも含め、誰もが楽しめる観光を目指し、その推進に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①大和村国直地区:体験事業(R5) ②大和村観光機能向上事業(～R4)						
担当部課	—		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	「宿泊」「食事」「体験」という観光コンテンツが三身一体となり、魅力ある集落地域性を活かした総合型観光メニューを創出することで、観光訴求力を向上させ、交流人口の増加を促進することで、観光事業者の自立的成長を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			8,000	8,000	10,889
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	8,000	8,000	10,889
	執行額				8,000	8,000	9,000
	執行率		—	—	100.0%	100.0%	82.7%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		体験事業・交流イベント開催による受入人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				2,500	2,500	3,000
	実 績 [単位:人]				2,100	975	1,152
	達成度				84.0%	39.0%	38.4%
	達成状況 の 評 価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 コロナ禍において、積極的な観光受入が出来ない状況下に出ることとして、アフターコロナを見据えた観光情報発信に努めるとともに、実際に来訪した際に活用される集落歩き案内看板の設置等を実施した。				
			【R4年度】 コロナ禍の影響により、積極的な受入ができない状況から、アフターコロナを見据えた観光情報の発信と集落歩き看板の設置を行った。 また、外貨獲得を図るため、加工品の商品パッケージ作成を実施した。				
			【R5年度】 アフターコロナによる誘客を促進するため、観光情報発信及び集落マップデザインの作成を行うとともに、観光誘客キャンペーンを実施することにより、宿泊と体験を結ぶ取組が展開できた。				
今後の取組方針	令和6年度、奄美大島発の天然温泉複合施設が本村に開園され、今後観光客の増加が期待されることから、本村の情報発信による誘客の促進と観光外貨を稼ぐため、温泉施設と村内宿泊・体験を有機的に結ぶ取り組みを加速させることにより、地域循環の観光振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	持続可能な観光による地域デザイン計画策定事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	宇検村		実施市町村名	宇検村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	宇検村内の観光事業関係者及び住民代表者と連携し、地域資源の発掘や問題点の整理を行い、10年先を考察した村民総意の観光計画書を作成する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				4,500	4,500
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	4,500	4,500
	執行額					4,500	4,500
	執行率		—	—	—	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		宇検村の観光拠点施設への訪問者・問合せ数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				38,000		40,000
	実 績 [単位:人]		37,373			37,441	35,375
	達成度						88.4%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】イベントの開催などにより積極的な誘客活動も行われており、施設の知名度向上に繋がっている。				
			【R5年度】 単独で運営していた関係競技会組織を再編成して1本化し、「宿泊」「食事」「体験」の関係者間の連絡及び協力体制が強化されている。				
今後の取組方針	村観光物産協会を中心とした様々なイベントの開催による誘客活動を行っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	フローラルちな新商品開発事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和5年度			
事業主体	知名町		実施市町村名	知名町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	地元食材を活用した新商品開発による来島者の滞在満足度向上及び地域活性化を図るとともに、イベントや物産展の開催による販路拡大及び知名町及び沖永良部島のPRを実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					4,480
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	－	－	－	－	4,480
	執行額						3,728
	執行率		－	－	－	－	83.2%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		来島者動向モニタリングシステムにおける滞在満足度指標				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標						4.2
	実 績						4.9
	達成度						116.7%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】 目標値を上回る数値となり、本事業の成果目標は達成したと評価できる。				
今後の取組方針	当初は単年度事業として本事業を実施したが、想定を超える応募数があり、事業実施後も町内にて需要が高まっていることから、令和7年度以降に継続して実施していく予定である。新商品開発を行うことによる地域経済の活性化及び滞在満足度向上に今後も努めていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	デジタルマーケティング事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	動画広告を活用したデジタルマーケティングを実施し認知度の向上を図るとともに、訴求力の高い情報コンテンツを制作・配信し、ターゲットに合わせて効果的で持続性・発展性のある誘客プロモーションを実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算				12,113	12,300
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	12,113	12,300
	執行額					12,113	12,349
	執行率		—	—	—	100.0%	100.4%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	与論島への入込客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 [単位:人]			80,000			90,000
	実績 [単位:人]				51,258		59,043
	達成度						65.6%
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
		【R4年度】 Youtube広告に加え、Facebook広告、Instagram広告といったメディアMIX型による配信を実施。訴求力の高い動画とInstagramは相性が良く、多くのフォロワー獲得に繋がった。また、町民を対象に撮影技術講習やSNSマーケティング講座、SNSにおけるトラブルへの対処法・予防法講座を開催し、自発的な情報発信や写真動画作成技術の底上げを図った。					
		【R5年度】 冬場のヨロン島を宣伝する観光PR動画の制作及び制作動画等の広告配信を実施。加えて、冬場開催されるイベント(十五夜踊り、ヨロンマラソン)に関する動画配信やインスタライブの実施により、冬場のヨロン島の魅力発信に繋がった。					
今後の取組方針	令和6年度以降も年間を通した来訪誘客を図るため、冬場のヨロン島の魅力発信に努めるとともにヨロンファンを対象としたアンケート調査や座談会を実施し、冬場のヨロン島に求められている魅力等の把握に努めていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島地域資源活用事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和5年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	星空等をテーマに全国から関係団体を誘致してイベントを開催。また、広告宣伝等のプロモーションを実施し、広く全国に情報発信を行うことで、星空ツーリズム等の新しい客層及び新規旅行客の誘客による入込増客を図るとともに、大気環境や自然環境保全の機運を高め持続可能な観光発展を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		8,000	4,000	3,000	3,000
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	8,000	4,000	3,000	3,000
	執行額			5,900	3,000	3,000	3,000
	執行率		—	73.8%	75.0%	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		星空等ツアープログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:件]				5		10
	実 績 [単位:件]			2	5	5	10
	達成度				100%		100%
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響によりイベント開催や誘客を図ることができなかった。一方でコロナ収束後を見据えたガイド育成、より美しい星空を見るため防犯灯の改良などの光害対策や住民の意識高揚を図るための観望会などを開催した。				
			【R3年度】新型コロナウイルスの影響によりイベントや研修等が実施できなかったものの、ガイド育成やPR活動、光害対策や島民の意識醸成などに取り組んだ。				
			【R4年度】 HPIによるツアー販売の実施、ガイドスキルアップ講座、光害対策や島民の意識醸成などに取り組んだ。				
			【R5年度】 ガイドスキルアップ講座、新規ガイド育成講座、星空観望会や星空関連イベントを通じた光害の啓発、会報誌の配布等を実施したことで、島民への意識情勢や旅行客の誘客に繋がっている。				
今後の取組方針	令和6年度以降も星空観望会や会報誌の配布等を通じた光害の啓発及び意識情勢を図るとともに、ガイド育成講座によるガイド数の確保やツアープログラムの造成を図ることで、旅行客の誘客及び持続可能な観光地づくりに努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	地域商品券付旅行商品造成事業							
担当部課	－		事業実施年度	令和5年度				
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10	
事業内容	本町では、Withコロナ下に対応したエコツーリズムや星空ツーリズム等の商品造成を行っている。また、これまでの短期滞在型の観光スタイルからワーケーション等と絡めた長期滞在型の観光スタイル間滞在する来島者が町内で活用できる地域商品券を付与し、滞在泊数の増加を促す。							
予算額・執行額 〔単位：千円〕 ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算						8,000
		補正予算						
		前年度繰越						
		翌年度繰越						
		その他増減						
	計		－	－	－	－	8,000	
	執行額						8,013	
	執行率		－	－	－	－	100.2%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論町への入込客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標						90,000	
	実 績						59,043	
	達成度						65.6%	
	達成状況 の評価		【R元年度】					
			【R2年度】					
			【R3年度】					
			【R4年度】					
			【R5年度】 一定の宿泊日数以上滞在する来島者へ町内の体験プログラムで利用できる地域商品券を付与し、体験プログラムの利用促進や認知度向上、滞在日数の増加による地域経済の活性化に繋がった。					
今後の取組方針	令和6年度以降も地域商品券の付与による体験プログラムの利用促進や滞在泊数の増加による地域経済の活性化に努める。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	奄美市外7町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	観光レクリエーション施設等の園地整備等を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	157,362	481,275	640,187	806,869	102,273
		補正予算	76	2,018	134,500	360,820	666,867
		前年度繰越	325,174	399,832	328,076	404,974	941,247
		翌年度繰越	▲ 399,832	▲ 328,076	▲ 404,974	▲ 941,247	▲ 1,062,480
		その他増減	0	3,578			
	計		82,780	558,627	697,789	631,416	647,907
	執行額		460,298	556,733	666,607	576,565	654,527
	執行率		556.0%	99.7%	95.5%	91.3%	101.0%
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島全体における入込客数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 [単位:人]			887,895			950,000	
実 績 [単位:人]		891,351	517,192	556,716	685,944	823,238	
達成度			58.2%			86.7%	
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】 コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。					
		【R3年度】 コロナ禍により入込客数が大幅減となったことから目標を達成できていない。					
		【R4年度】 入込客数は回復傾向にあるが、目標達成には至らなかった。					
		【R5年度】 入込客数は回復傾向にあるが、目標達成には至らなかった。					
今後の取組方針	アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	アマミノクロウサギ飼育展示施設整備事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	アマミノクロウサギ飼育展示施設の整備等を実施し、観光旅客の受入体制の整備を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	7,083	60,400	2,500	473,496	44,356
		補正予算	0				305,000
		前年度繰越	0	0	56,000	0	470,746
		翌年度繰越	0	▲ 56,000		▲ 470,746	▲ 654,137
		その他増減	0				
	計		7,083	4,400	58,500	2,750	165,965
	執行額		7,083	4,400	53,769	2,750	165,965
	執行率		100.0%	100.0%	91.9%	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美野生生物保護センター来館者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]		10,500		15,000	15,000	20,000
	実 績 [単位:人]		10,484	7,284	7,445	9,214	11,209
	達成度				49.6%	61.4%	56.0%
	達成状況 の評価		【R元年度】 施設整備の目的について文化庁、環境省と事前協議を行い、整備について概ね了承を得た。また、クロウサギについての有識者会議を開催し基本方針について検討した。				
			【R2年度】 有識者会議を開催し、「大和村アマミノクロウサギ研究飼育施設(仮称)設置運営に係る基本計画」を策定した。それに基づき、ボーリング調査及び建築実施設計をR3年度にかけて実施中。				
			【R3年度】 ボーリング調査、建築実施設計及び展示実施設計を実施。観光旅客の受入に向けて施設整備が進んだ。				
			【R4年度】 建築工事に着工した。併せて施設内で販売するお土産の商品開発を実施し、地域の民間業者と施設との繋がりができた。				
			【R5年度】 引き続き、建築工事にあたった。施設に必要な人材の確保、施設名やロゴの制作にあたった。				
今後の取組方針	展示工事に着手する。また、R7年4月開所を目指し、クロウサギ飼育に係る法令順守手続きや施設の管理運営に係る具体的な検討を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	加計呂麻島ターミナル整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	瀬戸内町		実施市町村名	瀬戸内町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	加計呂麻島の玄関口である瀬相集落のターミナル施設を、観光、交流、物流の機能を備えた施設として整備し、加計呂麻島内における交流・関係人口の増加と滞在促進に繋げることを目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			16,000		
		補正予算					301,922
		前年度繰越		0	0	16,000	0
		翌年度繰越			▲ 16,000		▲ 301,922
		その他増減					
	計		-	-	0	16,000	0
	執行額					16,000	
	執行率		-	-	-	100.0%	-
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①加計呂麻島への入込客数(交流人口) ②ターミナル施設の利用者数(地域住民及び交流人口)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 [単位:人]		①46,736				①50,000	
		②50,000				②53,000	
実 績 [単位:人]				①38,474 ②40,000	①40,157 ②41,926	①41,507 ②43,000	
		達成度			-		①83.0% ②81.1%
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
		R4年度へ繰越(新型コロナウイルス感染拡大による、加計呂麻島来島自粛等によって、入込客数及び既存施設の利用者数が減少した)					
		【R4年度】 前年度と比較し入込数が回復し増加している状況であるが、現在、施設建設に必要な地質調査及び実施設計を完了したところであるため、施設完成後において達成度の評価を行うこととしている。					
		【R5年度】 当該事業期間は令和3年度から令和7年度までの5年間と計画しており、事業評価についてはターミナル完成及び駐車場整備完了後(令和7年度)の達成度の評価を行うこととしている。					
今後の取組方針	令和5年度の補正予算を活用し、施設建設に取り組んでいるところである。施設の完成については令和6年度末を予定し、旧待合所の解体及び駐車場整備については令和7年度を予定している。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島町観光拠点施設整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	徳之島町		実施市町村名	徳之島町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	旧東天城地区への「ひとの流れを創出」し、交流人口拡大と地域活性化を図るため、世界自然遺産登録地でもあり、国立公園の特別保護地区を含む山クビリ林道の近くに位置する花徳地区において体験・交流型の観光拠点施設を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				43,525	3,999
		補正予算				360,820	59,945
		前年度繰越	0	0	0	0	365,713
		翌年度繰越				▲ 365,713	▲ 59,945
		その他増減					
		計	—	—	—	38,632	369,712
	執行額					38,631	368,764
	執行率		—	—	—	100.0%	99.7%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		拠点施設の管理運営に係る運営推進事業受講者				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]						12
	実 績 [単位:人]						11
	達成度						91.7%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 令和4年度について、ハード面では施設の設計や造成工事等を行い、ソフト面では拠点施設管理運営計画を策定した。				
			【R5年度】 令和5年度について、ハード面では施設の整備や外構工事(一部)を行い、ソフト面では管理運営を担う人材育成事業を行った。				
今後の取組方針	令和6年度について、ハード面では外構工事含め整備を完了させ、ソフト面ではオープンに向け、管理運営を担う人材育成事業を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	新たな観光案内道標設置整備事業							
担当部課	-		事業実施年度	令和5年度				
事業主体	和泊町		実施市町村名	和泊町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10	
事業内容	過去に整備された旧式の観光案内板を撤去し、QRコード等をモバイルで読み込むことで、現在位置情報や目的地の概要・到達経路等の位置情報を取得できる機能を導入した観光案内道標を整備する。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算						20,500
		補正予算						
		前年度繰越						
		翌年度繰越						▲ 20,500
		その他増減						
	計		-	-	-	-	0	
	執行額							
	執行率		-	-	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		来島者動向モニタリングシステムにおける満足度指標					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標					4.0	4.2	
	実 績						3.7	
	達成度						88.1%	
	達成状況 の 評価		【R元年度】					
			【R2年度】					
			【R3年度】					
			【R4年度】					
			【R5年度】 ※令和6年度へ繰越					
今後の取組方針	整備されて10年以上となり、経年劣化や破損等がみられる既設観光道標を撤去し、新たな観光道標を設置することにより、来島者の利便性向上につなげる。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	新たな観光案内道標設置整備事業							
担当部課	-		事業実施年度	令和5年度				
事業主体	知名町		実施市町村名	知名町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10	
事業内容	過去に整備された旧式の観光案内板を撤去し、QRコード等をモバイルで読み込むことで、現在位置情報や目的地の概要・到達経路等の位置情報を取得できる機能を導入した観光案内道標を整備する。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算						33,418
		補正予算						
		前年度繰越						
		翌年度繰越						▲ 25,976
		その他増減						
	計		-	-	-	-	7,442	
	執行額						7,444	
	執行率		-	-	-	-	100.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		来島者動向モニタリングシステムにおける満足度指標					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標					4.0	4.2	
	実 績						3.9	
	達成度						92.9%	
	達成状況 の評価	【R元年度】						
		【R2年度】						
		【R3年度】						
		【R4年度】						
【R5年度】 当初、令和5年度内に観光案内道標を設置予定であったが、道標の設置工事を翌年度に繰越して実施することとなったため、指標としては目標に達しなかった。								
今後の取組方針	令和5年度において発注した実施設計業務の成果物を基に、令和六年度において道標の設置工事を発注し同年度内に完了予定。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	佐仁地区休憩施設整備						
担当部課	－		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	北部地域に新たに休憩施設を整備し、観光ルートの確立、観光交流人口の増加、周遊型観光の推進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				49,500	
		補正予算					
		前年度繰越					28,988
		翌年度繰越				▲ 28,988	
		その他増減					
	計		－	－	－	20,512	28,988
	執行額					20,512	28,988
	執行率		－	－	－	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	佐仁地区休憩施設利用者数(トイレ・駐車場・広場)					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]					3,000	5,000
	実 績 [単位:人]					0	2,300
	達成度					0	46.0%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 令和4年度は本事業の着手年度であり、令和5年度中に完成予定である。				
			【R5年度】 令和5年12月からの供用開始となったため、目標達成には至らなかった。 利用者数実績(4ヶ月)から年間利用人数を推計すると、翌年度は達成が見込まれる。				
今後の取組方針	休憩施設の周知を行うとともに、佐仁地区の集落行事をはじめとする観光情報を発信し、観光交流人口の増加及び周遊型観光の促進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	高知山観光トイレ整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	瀬戸内町		実施市町村名	瀬戸内町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	町内屈指のビュースポットである高知山に観光トイレを整備し、周遊観光ルートとしての魅力を高め、交流人口の増加や観光の推進強化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				45,600	
		補正予算					
		前年度繰越					45,600
		翌年度繰越				▲ 45,600	
		その他増減					
	計		-	-	-	0	45,600
	執行額						55,007
	執行率		-	-	-	-	120.6%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		瀬戸内町への年間の入込客数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]					130,000	150,000
	実 績 [単位:人]						136,818
	達成度						91.2%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 ※令和5年度へ繰越				
			【R5年度】 令和4年度よりは増加しているものの、目標入込客数には届かなかった。R6.1月～3月のピーチ減便の影響も考えられる。				
今後の取組方針	令和5年11月に完成し利用を開始した。利用者が満足できる施設の維持管理にも留意しながら、今後も癒やしの島を満喫できるよう、各種施策と連携しつつ観光客の受入増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	西郷小浜公園整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	龍郷町		実施市町村名	龍郷町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	明治維新の立役者である西郷隆盛翁の龍郷町での2度目の潜居地を活用して公園整備事業を行うほか、西郷家の功績等の情報を発信するための拠点としても位置付け、観光客等の受入体制の整備や魅力ある観光情報の発信に向けた取組を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				160,000	
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	30,200
		翌年度繰越				▲ 30,200	
		その他増減				155	
		計	—	—	—	129,955	30,200
	執行額					129,955	28,359
	執行率		—	—	—	100.0%	93.9%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		イベント開催数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:回]						3
	実 績 [単位:回]					0	2
	達成度					0	66.7%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 工事完了予定がR6年2月につき、評価不可				
			【R5年度】 工事完了に伴い、八月踊り等のイベントを実施したが、目標の達成には至らなかった。				
今後の取組方針	今後は西郷隆盛ゆかりのイベントのほか、島唄イベント等を企画し、島内外から集客ができるよう、さらなる活用を検討していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	あまぎ自然と伝統文化体験館整備事業						
担当部課	商工水産観光課		事業実施年度		令和2年度～令和5年度		
事業主体	天城町		実施市町村名		天城町		
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	島唄、闘牛等の各種イベントの開催や特産品販売等を行える複合施設を整備し、交流人口の拡大を推進する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		40,000	203,300	101,000	100,000
		補正予算			50,000		285,010
		前年度繰越		0	40,000	242,928	101,000
		翌年度繰越		▲ 40,000	▲ 242,928	▲ 101,000	▲ 385,010
		その他増減					
		計	-	0	50,372	242,928	101,000
	執行額				49,532	243,227	104,483
	執行率		-	-	98.3%	100.1%	103.4%
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 【単位:人】				130,000		132,000	
実 績 【単位:人】			80,480	90,807	120,177	131,295	
達成度				69.9%		99.5%	
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に入込客数が減少となった。事業計画の再検討に伴い、全額を翌年度へ繰越。					
		【R3年度】 昨年度より繰越した設計業務等を完了し、一部の工事着手済み。次年度へ全額を繰越し、整備が本格的に開始する。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。					
		【R4年度】 整備が本格的に開始。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。					
		【R5年度】 1階躯体工事について2/3が完了した。(残はR6年度予算にて完了。) 施設が完成していないため達成状況に直接的な影響はないが、コロナ禍以降、入込客数は回復傾向にある。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、共用開始後の目標達成に向け、事業推進を図る。					
今後の取組方針	早期の事業着手、計画的な予算執行に努め、年次的に事業推進できるよう細部調整に努める。世界自然遺産登録やコロナ禍からの回復による観光需要の増加を見据え、多様な観光ニーズを的確に捉えつつ事業推進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10、6/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに位置付けられた重点三分野(「農業」「観光／交流」「情報」)に、「文化」「定住」の二分野を新たに加え、奄美群島一体となった施策の展開を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	166,306	141,418	181,905	135,804	123,972
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	166,306	141,418	181,905	135,804	123,972
	執行額		132,430	122,931	166,332	134,338	122,531
	執行率		79.6%	86.9%	91.4%	98.9%	98.8%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		チャレンジ世代(20歳～44歳)人口				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]				21,438		21,300
	実績 [単位:人]		21,410	21,623	20,852	20,152	19,611
	達成度				97.2%		92.1%
	達成状況 の 評価		【R元年度】 チャレンジ世代(20～44歳人口)は減少の一途をたどっている。令和5年度の目標達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。				
			【R2年度】 実績はR2国勢調査の結果であり、令和元年度の推計値と同程度となっている。引き続き、奄美群島の産業振興を図っていく。				
			【R3年度】 令和5年度の目標を達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。				
			【R4年度】 令和5年度の目標を達成するためには、奄美群島の産業振興を図ることで、人材の確保が必要である。				
			【R5年度】 令和5年度の目標を達成していないが、引き続き人材の確保に努め、奄美群島の産業振興を図る。				
今後の取組方針	「奄美群島成長戦略ビジョン2033」に向け、引き続き各種事業を積極的に展開していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島民間主導型産業振興モデル構築支援事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに掲げた戦略の基本方策に基づき、民間主導型の新たな産業振興モデルを構築するための人材の確保、育成、教育を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				19,554	16,489
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	—	—	—	19,554	16,489
	執行額					19,435	15,716
	執行率		—	—	—	99.4%	95.3%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの累計創出件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標					10	20
	[単位:件]						
	実 績					9	15
	[単位:件]						
	達成度					90.0%	75.0%
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 島ちゅチャレンジ:募集件数42件 採択件数9件 事業完了9件 人材育成成果発表会運営:奄美群島で活躍する民間事業者等の事例発表を行う「島サバクリエイティブGCD(ガシド)」を与論島にて開催した。 スタートアップ支援事業:クラウドファンディングサイト「奄美群島 with CAMPFIRE」を開設(2件起案、調達金2,081,300円)				
			【R5年度】 島ちゅチャレンジ:募集件数27件 採択件数6件 事業完了6件 人材育成成果発表会運営:奄美群島で活躍する民間事業者等の事例発表を行う「島サバクリエイティブGCD(ガシド)」を徳之島にて開催した。				
今後の取組方針	奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	①奄美群島移住支援推進事業(R5) ②UIOターン支援体制構築推進事業(～R4)						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島における、人口流出及び高齢化による経済規模の縮小及び産業衰退への対応策として、奄美群島への人材の呼び込み促進に繋がる官民一体となった支援体制の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	5,169	4,279	5,355	6,124	4,382
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		5,169	4,279	5,355	6,124	4,382
	執行額		4,577	3,321	4,179	5,891	4,208
	執行率		88.5%	77.6%	78.0%	96.2%	96.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		R1～R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				25		43
	実 績 [単位:人]		9	13 (4)	23 (10)	28 (5)	45 (17)
	達成度				92.0%		104.7%
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和3年度の目標のうち36%を達成している為、令和元年度の目標は達成されていると考えられる。				
			【R2年度】 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和元年度の実績の半分しか満たしておらず、令和3年度の間目標を達成させるための対応を検討しなければならない。				
			【R3年度】 令和5年度の目標のうち5割を超えており、一定の成果は上がっている。今後は、オンラインや現地ツアーの開催を含めて情報を発信し、目標値を越せるよう対策を行う。				
			【R4年度】 令和4年度は、現地ツアーやオンライン交流、移住フェアへの出展等情報発信を行ったが、前年度より移住者数が増加しなかったため、目標達成にむけ対応を検討していく。				
			【R5年度】 令和5年度の目標値である43名に対し、45名と目標を達成することができた。ご家族で移住した方が2組いたことで全体の移住者数が増加することにつながった。今後も市町村と連携を図るとともに、年間を通じた移住支援の情報発信を行っていく。				
今後の取組方針	移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアへの参加や移住体験プログラムの周知、空き家対策の取組を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島エコツーリズム推進事業							
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10	
事業内容	奄美群島における地域資源の保全と適正な管理を行い、地域が主体となって持続可能な観光形態を構築し、「環境保全」「地域振興」「観光振興」のバランスのとれた発展を目指すエコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図る。							
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース	予算 の 状 況			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			当初予算	18,389	23,275	23,829	19,508	17,879
			補正予算	0				
			前年度繰越	0	0	0	0	0
			翌年度繰越	0				
			その他増減	0				
			計	18,389	23,275	23,829	19,508	17,879
			執行額	18,148	23,243	12,512	19,503	17,353
			執行率	98.7%	99.9%	52.5%	100.0%	97.1%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島認定エコツアーガイド数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 〔単位:人〕			115			160	
	実 績 〔単位:人〕		109	133	147	161	176	
	達成度			115.6%			110.0%	
	達成状況 の評価		【R元年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)					
			【R2年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:24名)					
			【R3年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:14名)					
			【R4年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:14名)					
			【R5年度】 奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:15名)					
今後の取組方針	奄美群島認定エコツアーガイドの育成及び確保や、観光客増加に伴う各島の課題解決、特定自然観光資源の指定など、自然観光資源の保全、観光利用者の体験の質の確保について取組む。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島地域通訳案内士育成事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	近年の奄美群島の認知度の拡大及び、大都市圏国際空港からの直行便就航による交流人口の多様化に対応した受入体制の構築を図るため、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士を育成する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	19,434	18,084	17,472	19,992	10,246
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	19,434	18,084	17,472	19,992	10,246
	執行額		19,279	17,699	19,522	19,958	10,231
	執行率		99.2%	97.9%	111.7%	99.8%	99.9%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:人〕			153			186
	実 績 〔単位:人〕		129	129	159	185	185
	達成度			84.3%			99.5%
	達成状況 の 評価		【R元年度】 奄美群島各島において地域通訳案内士育成研修を開催し、奄美群島地域通訳案内士の育成を図った。(英語:20名／中国語:2名)				
			【R2年度】 地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】40名(英語28名、中国語12名)				
			【R3年度】 地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】30名(英語22名、中国語5名、韓国語3名)				
			【R4年度】 地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】26名(英語20名、中国語4名、韓国語2名)				
			【R5年度】 地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】31名(英語27名、中国語2名、韓国語2名)				
今後の取組方針	外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士育成を推進し、受け入れ態勢の強化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光物産広域連携事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の観光交流人口増加に向けた一般消費者への旅行喚起施策とあわせて、キャリア及び旅行会社と連携した旅行商品造成活性化施策及び物産面のブランディングを積極的に展開し、観光来訪の促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	78,628	51,061	53,139	53,288	52,281
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		78,628	51,061	53,139	53,288	52,281
	執行額		49,954	37,293	52,383	52,882	52,197
	執行率		63.5%	73.0%	98.6%	99.2%	99.8%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数の内、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			359,780			386,251
	実 績 [単位:人]		391,969	301,523	406,750	493,193	450,813
	達成度			83.8%			116.7%
	達成状況 の 評価		【R元年度】 奄美群島への入込客数が年々増加している状況である。 今後も、観光来訪の促進を図る。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により旅行客が大きく減少している。 減少した客数の回復のためにも、来訪の推進が必要。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響があったが、旅行客数は回復傾向にある。 今後も客数増加に向け、来訪の推進が必要。				
			【R4年度】 旅行客数は回復傾向。今後も客数増加のため、物産展や旅行説明会等の取組を進める。				
			【R5年度】 コロナ感染症による影響を受け物産展等の開催回数の減少はあったものの、ECサイトの構築、物産展等を開催するとともに、大都市圏における旅行説明会や、FAMトリップの開催を通じ、旅行業者、一般消費者にそれぞれターゲットを絞ったアピールを実施出来た。併せて観光客の満足度等を図るためアンケートを引き続き実施した。				
今後の取組方針	引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向けた旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美黒糖焼酎販路拡大・人材育成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美群島の代表的な特産品である「奄美黒糖焼酎」を群島一丸となって、戦略的プロモーションを展開することで、「奄美黒糖焼酎」の認知度向上・販路拡大を図るとともに、プロモーション活動を通じて焼酎業界の産業振興を図り、人材の育成・確保を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			9,600	7,100	6,144
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	9,600	7,100	6,144
	執行額				8,161	6,967	6,114
	執行率		—	—	85.0%	98.1%	99.5%
成果目標及び達成状況	アウトカム指標	奄美黒糖焼酎移出数量					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:kℓ]					7,500	7,800
	実績 [単位:kℓ]				7,251	7,005	6,791
	達成度					93.4%	87.1%
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】 黒糖焼酎の海外販路に向け、酒造組合や黒糖焼酎事業者等からなるワーキンググループを設置するとともに、米国での酒類の市場調査や、LAサンプルショールームへの出展やSakeShochuMeetupへの参加といった海外でのPR活動を行うなど販路拡大や蔵元の人材育成を図った。また、海外輸出へ関心のある企業に対する相談支援を行った。					
		【R4年度】 黒糖焼酎の海外販路に向け、酒造組合や黒糖焼酎事業者等からなるワーキンググループを設置するとともに、米国での酒類の市場調査、ジャパンハウスロサンゼルスにおけるSavor Japanese Crafts Spirits!RECEPTIONでの黒糖焼酎ブース出展、海外バイヤー向けバーチャル蔵視察の実施及び、イタリアバイヤー招へい事業等の海外に向けてのPR活動を行った。					
		【R5年度】 奄美黒糖焼酎事業者、関係者からなるワーキンググループにおいて海外販路拡大に係る会議を行い、JapaneseFoodExpoinLAおよびSakeFestivalへの出展、フランスバイヤーの招へいをを行った。					
今後の取組方針	黒糖焼酎の海外販路拡大に向け、引き続きワーキンググループを運営、海外でのPR活動を行うなどにより海外販路の拡大や人材育成を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光マスタープラン策定調査						
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の生物多様性や地域文化を保全・継承しつつ、国立公園指定や世界自然遺産登録の効果を群島全体に波及させるため、令和5年度に「奄美群島の持続可能な観光振興戦略(仮称)」を策定し、奄美群島の持続可能な観光振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				10,238	12,360
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	10,238	12,360
	執行額					9,702	12,614
	執行率		—	—	—	94.8%	102.1%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]						950,000
	実績 [単位:人]					685,944	823,238
	達成度						86.7%
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
		【R4年度】 令和5年度で奄美群島の観光計画の策定に向けて、観光関係団体や民間事業者を対象に、ヒアリングや意見交換会を行った。また、奄美群島及び各島の観光関連の計画の調査、有識者による現地視察を行い、奄美群島全体で目指す観光振興の方向性、取り組むべき観光振興策や観光振興の課題等を把握した。					
		【R5年度】 奄美群島全体の観光に関する方向性についてのマスタープラン策定の為策定委員会の設立を行い各島での現状や課題を基にマスタープランを策定した。					
今後の取組方針	奄美群島の観光計画の策定し、持続可能な観光振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島歴史文化活用事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和5年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美群島の歴史・文化(島唄やシマフトゥバ等)をテーマとした学習活動や継承、多世代が連携し、地域の課題解決や住民の夢を実現を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					4,191
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	—	4,191
	執行額						4,099
	執行率		—	—	—	—	97.8%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島全体における入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]						950,000
	実 績 [単位:人]						823,238
	達成度						86.7%
	達成状況 の 評 価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】 支援件数5件であり、地域住民が奄美固有の自然環境や方言を学習する取組みに対して支援した。				
今後の取組方針	R5年度の単年度実施事業。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美の冬場でも温暖な気候を生かし、官民一体となったスポーツ合宿誘致を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			10,000	10,000	5,000
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	-	10,000	10,000	5,000
	執行額		0	0	8,393	10,000	5,000
	執行率		-	-	83.9%	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]				12,000		13,000
	実績 [単位:人]				9,524	14,372	15,535
	達成度				79.4%		119.5%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 キャンプが継続して実施されるよう、ニーズに対しきめ細やかに対応した。また、国内主要大会へ出向き、来島チームの激励と合わせ、新たなキャンプチームの誘客活動を実施した。さらに、業務委託により市受け入れ体制の再構築に向け、全国のスポーツコミッションに対し、運営体制や抱える課題等についてアンケート調査を実施した。本事業により、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けた取組を推進することができた。				
			【R4年度】 スポーツキャンプを通じた交流人口の拡大に向け、チームのニーズにきめ細やかに対応した。また、キャンプの継続に向けた国内主要大会におけるキャンプチームの激励と合わせて本市の特設ブースを出展し、情報発信に努めるとともにさらなる誘客拡大を図った。				
			【R5年度】 目標を大きく上回り、達成度は119%となった。これまでの取り組みの成果が出ていると考える。これからも引き続き取り組みを実施していくとともに、受け入れ側と来島者側のバランスを考慮しながら、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けた取組を推進していきたい。				
	今後の取組方針		これまで培ったチームとの関係をキャンプの継続実施に繋げるとともに、誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。				

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ボランティア体験ツアー事業							
担当部課	-		事業実施年度	令和5年度				
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10	
事業内容	ヨロンマラソンの開催準備等を行うボランティア体験モニターツアー等を実施し、地域住民との交流促進による地域活性化、大会のサービスの質の向上を目指すとともに、ヨロンマラソンを活用した新規旅行客やボランティア体験を目的とした新しい客層の誘客を図る。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算						1,700
		補正予算						
		前年度繰越						
		翌年度繰越						
		その他増減						
	計		-	-	-	-	1,700	
	執行額						1,700	
	執行率		-	-	-	-	100.0%	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論島への入込客の増加数(ボランティア体験モニターツアー参加者)					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:人]						28人	
	実 績 [単位:人]						32人	
	達成度						114.3%	
	達成状況 の 評価		【R元年度】					
			【R2年度】					
			【R3年度】					
			【R4年度】					
			【R5年度】 ヨロンマラソン前後の期間に実施したボランティア体験モニターツアーへ32人(学生29人、一般3人)が参加し、ボランティア不足を解消するとともにボランティアを通じた住民との交流により地域活性化が図られた。					
今後の取組方針	R5年度実施により、ボランティア体験ツアーは学生のニーズが高く、大会運営に関する地域の負担軽減や活性化が見られたことから、継続に向けて受入体制の整備や財源確保等を進めていく。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	防災関連施設整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美市外7町村		実施市町村名	奄美市外7町村			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 イ.防災対策の推進に関する事業					交付率	5/10
事業内容	避難所機能(集会場や公民館等)の向上を目的とした整備や防災拠点施設等の整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	61,100	231,606	187,835	0	379,927
		補正予算	457,900	795,098	615,086	338,564	51,824
		前年度繰越	1,027,848	457,900	1,019,204	777,351	356,918
		翌年度繰越	▲ 457,900	▲ 1,019,204	▲ 777,351	▲ 356,918	▲ 348,631
		その他増減	0	45,715			
	計		1,088,948	511,115	1,044,774	758,997	440,038
	執行額		1,077,669	492,609	994,429	726,053	440,348
	執行率		99.0%	96.4%	95.2%	95.7%	100.1%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①防災行政無線の整備率 (R5年度目標はデジタル無線での整備率を加味した目標) ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				①100% ②62か所		①83% ②41か所
	実績		①99% ②142か所	①100% ②93か所	①100% ②76か所	①100% ②73か所	①100% ②70か所
	達成度				①100% ②122.6%		①100% ②170.7%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 着実に要修復箇所の整備が進められている。				
			【R3年度】 着実に要修復箇所の整備が進められている。				
			【R4年度】 着実に要修復箇所の整備が進められている。				
			【R5年度】 着実に要修復箇所の整備が進められている。				
今後の取組方針	台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい離島留学推進事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	大和村外6町村		実施市町村名	大和村外6町村			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美群島における将来の産業の担い手確保等を図るため、本土等の児童生徒が奄美の自然や文化を肌で感じられるような奄美らしい離島留学の機会を創出するために必要な施策の実施を推進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	27,500	43,471	53,366	42,980	59,598
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		27,500	43,471	53,366	42,980	59,598
	執行額		24,786	39,338	46,685	41,228	62,581
	執行率		90.1%	90.5%	87.5%	95.9%	105.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		留学生人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				40		50
	実 績 [単位:人]		68	74	68	71	78
	達成度				170.0%		156.0%
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は68人であり、中間目標値を上回った。				
			【R2年度】 令和2年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は74人であり、昨年度に引き続き中間目標値を上回った。				
			【R3年度】 コロナ禍により、事業が実施できなかった自治体もあったが、中間目標値を上回る結果となった。				
			【R4年度】 令和4年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は71人であり、昨年度に引き続き中間目標値を上回った。				
			【R5年度】 令和5年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は78人であり、目標値を上回った。				
今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヤギ被害防除対策事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町		実施市町村名	奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業					交付率	5/10
事業内容	ノヤギ駆除を行うことで、希少植物の食害や、それに伴う土砂災害、赤土流出による海洋汚染などを防止し、世界自然遺産候補地となっている奄美の自然生態系を保全する。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	9,446	10,189	10,233	10,087	10,298
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	9,446	10,189	10,233	10,087	10,298
	執行額		9,454	9,285	8,948	9,803	8,596
	執行率		100.1%	91.1%	87.4%	97.2%	83.5%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ノヤギの捕獲頭数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:頭〕				205		165
	実 績 〔単位:頭〕		265	255	251	268	201
	達成度				122.4%		121.8%
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度のノヤギの捕獲頭数は265頭であった。				
			【R2年度】 令和2年度のノヤギの捕獲頭数は255頭であった。				
			【R3年度】 令和3年度のノヤギの捕獲頭数は251頭であった。 野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。				
			【R4年度】 令和4年度のノヤギの捕獲頭数は268頭であった。 野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。				
			【R5年度】 令和5年度のノヤギの捕獲頭数は201頭であった。 野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。				
今後の取組方針	引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	サンゴ礁保全対策事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	市町村、奄美群島サンゴ礁保全対策協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	世界自然遺産登録に向けて、オニヒトデ駆除、モニタリング調査を行うとともに、サンゴの再生の手法について調査研究を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	21,957	21,869	26,137	31,056	31,044
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	21,957	21,869	26,137	31,056	31,044
	執行額		21,643	21,580	25,597	30,964	30,827
	執行率		98.6%	98.7%	97.9%	99.7%	99.3%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下、「H28※」と表記。))と比較して5%以上、上昇した箇所数 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上、低下した箇所数 ③サンゴ礁被度が60%以上の箇所数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				H28※→R3 ①106箇所以上 ②27箇所以下 ③54箇所以上		H28※→R5 ①120箇所以上 ②11箇所以下 ③73箇所以上
	実績		①58箇所 ②15箇所 ③19箇所	①51箇所 ②10箇所 ③20箇所	①40箇所 ②17箇所 ③21箇所	①51箇所 ②15箇所 ③33箇所	①53箇所 ②22箇所 ③33箇所
	達成度				①37.7% ②158.8% ③38.9%		①44.2% ②200.0% ③45.2%
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度の実績はそれぞれ①58か所、②15か所、③19か所であった。				
			【R2年度】 令和2年度の実績はそれぞれ①51か所、②10か所、③20か所であった。				
			【R3年度】 令和3年度の実績はそれぞれ①40か所、②17か所、③21か所であった。 オニヒトデ等の駆除及びモニタリングを実施し、また、再生試験を実施することで、サンゴ礁の白化等の状況を把握することが出来た。目標に至らなかった要因としては、海水温の上昇、赤土の流出等があげられる。				
			【R4年度】 令和4年度の実績はそれぞれ①51か所、②15か所、③33か所であった。オニヒトデ駆除数は減少傾向にあるが、引き続きモニタリングを実施し目標達成を図っていく。				
			【R5年度】 令和5年度の実績はそれぞれ①53か所、②22か所、③33か所であった。オニヒトデ駆除数は減少傾向にあるが、引き続きモニタリングを実施し目標達成を図っていく。				
今後の取組方針	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ネコ対策事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美大島5市町村 徳之島3町		実施市町村名	奄美大島5市町村 徳之島3町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	ノネコ対策と、その発生源対策を並行して実施することにより、アマミノクロウサギ等の希少野生動物の被害を防止し、独自の在来生態系の保全に資する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	65,472	68,235	68,041	91,213	96,415
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	1,350			
		計	65,472	69,585	68,041	91,213	96,415
	執行額		53,648	66,524	67,124	90,701	92,671
	執行率		81.9%	95.6%	98.7%	99.4%	96.1%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ネコの不妊手術件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:件]				1,300		1,030
	実績 [単位:件]		1,256	977	786	828	669
	達成度				60.5%		65.0%
	達成状況 の 評価		【R元年度】 令和元年度のネコの不妊手術件数は1,256件であった。				
			【R2年度】 令和2年度のネコの不妊手術件数は977件であった。				
			【R3年度】 令和3年度のネコの不妊手術件数は786件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。				
			【R4年度】 令和4年度のネコの不妊手術件数は828件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。				
			【R5年度】 令和5年度のネコの不妊手術件数は669件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。				
今後の取組方針	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美大島希少野生動植物保護事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美大島自然保護協議会		実施市町村名	奄美大島5市町村			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美大島内での盗採・盗掘を防ぐためのパトロールや外来種の駆除を行い、奄美大島の希少な自然環境を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	8,200	8,200	12,400	12,400	12,400
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	8,200	8,200	12,400	12,400	12,400
	執行額		8,200	8,200	12,400	12,400	12,400
	執行率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		パトロール1回あたりの希少種確認種数の積み上げ				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:種]				1,000		1,000
	実 績 [単位:種]		3,083	3,163	7,000	7,000	7,000
	達成度				700%		700%
	達成状況 の評価		【R元年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
			【R2年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
			【R3年度】 令和3年度の希少動物確認種数の積み上げは7,000種と目標を大きく上回ることができた。				
			【R4年度】 パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。				
【R5年度】 令和5年度の希少動物確認種数の積み上げは7,000種と目標を大きく上回ることができた。							
今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島希少野生動植物保護事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	徳之島3町		実施市町村名	徳之島3町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	徳之島内での盗採・盗掘を防ぐためのパトロールや外来種の駆除、普及啓発を行い、徳之島の気象な自然環境を保全する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	0	8,750	8,696
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	-	-	8,750	8,696
	執行額		0	0	0	8,352	8,318
	執行率		-	-	-	95.5%	95.7%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		自然体験参加者の環境保全活動の取り組み率				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:%]					40	50
	実 績 [単位:%]				0	31.5	31.0
	達成度					78.8%	62.0%
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 盗掘・盗採パトロールを行うとともに外来種の駆除を行った。また普及啓発を行い、住民等の環境保全に関する意識向上を図った。				
			【R5年度】 盗掘・盗採パトロールを行うとともに外来種の駆除を行った。また普及啓発を行い、住民等の環境保全に関する意識向上を図った。				
今後の取組方針	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島加工品販路拡大支援実証事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和2年度～令和5年度			
事業主体	奄美市他4町村		実施市町村名	奄美市他4町村			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美群島において、農林水産物を活用した加工品や伝統工芸品などの群島外への販路拡大に係る経費を補助するとともに、地域の特性を生かした商品の販路拡大に取り組む人材の育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		13,374	14,259	13,230	11,969
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		15			
		計	-	13,389	14,259	13,230	11,969
	執行額			7,944	10,241	12,076	12,136
	執行率		-	59.3%	71.8%	91.3%	101.4%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		補助申請件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:件】		0		20		32
	実 績 【単位:件】			21	26	32	28
	達成度				130%		87.5%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 事業の周知の遅れ等はあったものの令和2年度は21件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
			【R3年度】 令和3年度は26件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
			【R4年度】 令和4年度は32件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。				
			【R5年度】 令和5年度は28件の申請件数があり目標を下回る実績となった。				
今後の取組方針	周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島水産物流通支援事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和5年度			
事業主体	奄美市外5町		実施市町村名	奄美市外5町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 オ.林業及び水産業の振興に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	水産物の出荷団体が、奄美群島から沖縄本島まで出荷する際の輸送費の一部を補助することにより、奄美群島における水産業の振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	14,131	10,879	13,244	11,267	10,602
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	6			
	計		14,131	10,885	13,244	11,267	10,602
	執行額		9,619	8,673	7,705	8,539	10,350
	執行率		68.1%	79.7%	58.2%	75.8%	97.6%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:トン]				616		643
	実 績 [単位:トン]		1,078	974	909	1,013	1,147
	達成度				147.6%		178.4%
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,078トンであり、中間目標値を上回った。				
			【R2年度】 令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は974トンであり、コロナ禍の影響により前年度よりは減少したものの中間目標値を上回った。				
			【R3年度】 令和2年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は909トンであり、R2年度同様コロナ禍の影響により減少したものの中間目標値を上回った。				
			【R4年度】 令和4年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,013トンであり、R3年度同様コロナ禍の影響により減少したものの中間目標値を上回った。				
			【R5年度】 令和5年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,147トンであり、目標値を上回った。				
今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	市町村、奄美群島水産振興協議会	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑦オ. 林業及び水産業の振興に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	地域特産水産物であるシラヒゲウニ・ヤコウガイ等の資源回復や漁業生産の安定を図るため、種苗生産技術の導入、種苗生産体制の確立、藻場の回復を図るとともに、安定供給が可能となる養殖について検討を進める。また、漁港の製氷施設など漁業関連施設の整備等を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	0	108,100	39,559	11,472	16,644
		補正予算	4,840		45,000		
		前年度繰越	0	4,840	100,500	62,568	0
		翌年度繰越	▲ 4,840	▲ 100,500	▲ 62,568		
		その他増減	0				
		計	0	12,440	122,491	74,040	16,644
	執行額		0	8,521	129,892	73,235	15,103
	執行率		—	68.5%	106.0%	98.9%	90.7%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島における海面漁業の生産額				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:百万円]				10,329		10,382
	実 績		7,635		8,471	9,005	10,840
	達成度				82.0%		104.4%
	達成状況 の評価		【R元年度】 海面漁業の生産額1、202百万円＋クロマグロ養殖生産量6、433百万（固定）であり、カツオ類等の漁獲減少やソデイカ等の不漁により基準値の約75%となった。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症拡大のため、業者打合せ等が難航したことにより、製氷機設備改修工事の実施設計等の事業計画を翌年度に繰り越すこととなった。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染症拡大による需要低下や海底火山由来と思われる軽石の大量漂着等による出漁自粛等の影響を受け、目標値の約82%となった。				
			【R4年度】 新型コロナウイルス感染症の影響が下火になり、需要の回復によるものと考えられる養殖生産額の増加により、実績値は前年度比約106%となった。				
			【R5年度】 需要回復によるものと考えられる養殖生産量及び生産額（主にクロマグロ、カンパチ）の増加により、目標値の約104%となった。				
今後の取組方針		シラヒゲウニについては、これまで実証試験等で集積した知見をもとに種苗生産に関するマニュアルを作成し、関係者に配布した。今後種苗生産を要望する地域がある場合は、マニュアル等をもとに各自治体で検討する。 ヤコウガイについては、種苗生産試験を複数回実施したものの、目的としていた結果は得られず、現地での種苗生産は困難であることが判明した。現状の資源状態を悪化させないよう、資源管理や漁業生産の安定を図る取り組みについて引き続き検討を行う。					

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光拠点連携情報発信事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和5年度				
事業主体	あまみ大島観光物産連盟	実施市町村名	奄美大島5市町村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島の各観光拠点について、連携したPR・情報発信を実施し、観光客の周遊を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予 算 の 状 況	当初予算	10,000	10,000	10,000	10,000	13,000
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	10,000	10,000	10,000	10,000	13,000
	執行額		10,000	10,000	1,000	10,000	13,000
	執行率		100.0%	100.0%	10.0%	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度 (大変満足のシェア)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位: %]		64	66	68	63.5	64
	実 績 [単位: %]		59	62.2	47.7	45.5	48.5
	達成度		92.1%	94.2%	70.1%	71.6%	75.8%
	達成状況 の評価		【R元年度】 満足度調査の項目で、「交通:二次交通や特産品:お土産」への不満意見が多く、離島がゆえに全体の目標達成に至っていない。				
			【R2年度】 前年度と比較し全体満足度含む8項目で満足度がやや向上しておりコロナ禍においてもホスピタリティの水準を落とすことなくサービスの提供を行えた。				
			【R3年度】 前年度と比較し全体的に満足度が低下しており、満足度調査の項目で「宿泊、食事お土産、交通」への不満意見が多く、全項目において目標達成に至っていない。不満意見が多い要因として、コロナ感染拡大による来島自粛の要請や休業・時短要請が影響したと考えられる。				
			【R4年度】 前年度と同様に満足度は低下している。新型コロナウイルスの感染拡大により飲食店などでは島内客のみの営業を行うところも見受けられた。また、閉鎖している施設が多かったことも要因と考えられる。				
			【R5年度】 満足度についてはやや改善したが、目標値と比較すると依然低いままである。特に、引き続き「交通」への満足度の低さが顕著。一方「宿泊・飲食」についてはやや改善傾向。新型コロナの落ち着いたに伴い島外客も利用しやすくなったことが要因と考えられる。				
今後の取組方針	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	本場奄美大島紬生産流通活性化事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	本場奄美大島紬産地の生産状況と流通体制の現状を正確に把握した上で、今後の施策を盛り込んだ「第2期産地再生計画」を策定する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		0	6,200	2,200	1,106
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		0			
	計		-	-	6,200	2,200	1,106
	執行額			0	5,179	1,948	1,106
	執行率		-	-	83.5%	88.5%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		本場奄美大島紬協同組合による本場奄美大島紬検査反数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:反】				3,874	3,874	4,648
	実 績 【単位:反】				3,290	2,960	2,710
	達成度				84.9%	76.4%	58.3%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 3,290反 (達成率参考) 令和3年度目標3,874反に対する達成度は85%であった。 本事業により、翌年度以降に実施する各種施策の指針となる、「第2期本場奄美大島紬産地再生計画」を策定することができた。				
			【R4年度】2,960反 (達成率参考) 令和4年度目標3,874反に対する達成度は76%であった。 令和5年1月15日～16日:東京奄美会の賀詞交歓会とあわせて東京で新春販売会を行い、2反1,204,000円の売上や、大島紬への理解を深める機会の創出につなげた。 令和5年2月13日～15日:島外のと装関係者を対象にモニターツアー(産地見学会)を実施、16社24名に来島いただいた。年に1回の「本場奄美大島紬グランプリ」と同時開催して審査に参加いただき、今後の商品開発や情報発信につなげた。				
			【R5年度】2,710反 (達成率参考) 令和5年度目標4,648反に対する達成度は58.3%であった。 令和5年12月10日:奄美群島日本復帰記念式典に合わせて東京販売会を行い、奄美出身者との親睦を図るとともに、大島紬の販売促進を図ることができた。 令和6年2月12日～14日:福岡県久留米市にて産地視察を実施、他産地の販売方法、製品の作製状況、市場開拓の仕組み、織物産地としての活動状況等を視察し、今後の大島紬の流通の活性化につなげていくヒントを得ることができた。 令和6年2月19日～21日:島外のと装関係者を対象にモニターツアーを実施、12社15名に来島いただいた。昨年同様「本場奄美大島紬グランプリ」の審査に参加いただき、今後の商品開発や情報発信につなげた。				
今後の取組方針	令和3年度策定の「第2期産地再生計画」を基に、島内外での販路開拓事業を展開するとともに、認知度向上、需要喚起を図るためのPR事業も展開する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	宇検村医療体制強化事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	宇検村		実施市町村名	宇検村			
事業分類	⑦ウ 医療の確保に関する事業					交付率	5/10
事業内容	村内唯一の医療機関であり住民の日常を支える重要な役割を果たす診療所について、地域住民が安心できる永続的な診療体制を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				13,674	273,548
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	9,940
		翌年度繰越				▲ 9,940	▲ 164,048
		その他増減					
		計	－	－	－	3,734	119,440
	執行額					3,734	118,740
	執行率		－	－	－	100.0%	99.4%
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		受診患者件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 [単位:件]			4,000		4,400	4,800	
実 績 [単位:件]					6,239	10,047	
達成度					141.8%	209.3%	
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
		【R4年度】 R5建設に向け、実施設計が終了。					
		【R5年度】 施設整備に着工。令和6年12月の開院に向けて事業推進中。					
今後の取組方針	現在施設整備中。令和6年12月の開院に向けて事業を進める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	海洋教育を中心とした問題解決型学習による人材育成事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和5年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	与論町在住の中学生、高校生及び成人を対象に、島外研修を含む海洋教育プログラムによるPBL(Project Based Learning/問題解決型学習)の実施による人材育成を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		0	2,000	4,300	4,510
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越		0			
		その他増減					
		計	-	-	2,000	4,300	4,510
	執行額				2,000	4,300	4,510
	執行率		-	-	100.0%	100.0%	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島チャレンジ事業への応募・提案件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:件】		0			3	3
	実 績 【単位:件】				4	4	3
	達成度					133%	100%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 人材育成講座を実施し14名が受講。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーンちゅAWARD2022)では16名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。				
			【R4年度】 人材育成講座(定員8名)を実施し8名が受講(2名途中辞退)。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーンちゅAWARD2023)では8名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。また、R3年度に選定された事業について資金助成及び有識者による伴走支援を実施。				
			【R5年度】 人材育成講座(定員8名)を実施し10名が受講(2名途中辞退)。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベーンちゅAWARD2024)では6名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。また、R4年度に選定された事業について資金助成及び有識者による伴走支援を実施。(3名に伴走支援を実施)				
今後の取組方針	引き続きPBLによる人材育成講座及びビジネスプランコンテストを実施するとともに、町内外の関係機関等と連携しながら起業・創業支援体制を構築し、人材育成・起業支援を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	政策連携による多様な働き方モデル創出事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	これまで様々な政策において支援してきたICT事業者及びその従事者、フリーランス、創業者など多様な働き方と誘致してきた企業による政策間の連携を図りながら、「WorkStyle Lab」にて多様な働き方を推進していく。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				20,000	8,760
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	20,000	8,760
	執行額					19,278	8,642
	執行率		—	—	—	96.4%	98.7%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		『経済センサス基礎調査』の事業所数総数を指標とし、目標値は目標年度に公表される数値とする。				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:件]		2,672			2,670	2,680
	実 績 [単位:件]					—	—
	達成度					—	—
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 個別事業の実績については、創業支援・フリーランス支援、ICT活性化など、人材育成やスキルアップに向けた支援を計画通り実施することができた。				
			【R5年度】 事業全体の成果目標に対する達成状況は、R6年度に実施される経済センサス基礎調査をもって評価することとするが、個別事業に関しては、9名の創業者の創出や68名の方へのフリーランス支援の実施、また、伴走型支援のデジタルマーケティングスキル習得事業として14名の方への支援に対し、満足度は9割以上が「満足した」という評価の高い結果となった。				
今後の取組方針	民間事業者との連携や、各個別事業間の連携を図り、市内事業者やフリーランス、創業者などの求めているニーズ把握に努め、より内容の充実した人材育成等の支援を実施できるよう事業を展開するとともに、事業最終年度となるR6年度は、事業実績についての効果測定を実施し、民間事業者主導でできる部分と、行政として支援が必要な部分を整理する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	Uターン促進事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和4年度～令和5年度			
事業主体	瀬戸内町		実施市町村名	瀬戸内町			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	人材の確保及び人口増を図るため、瀬戸内町出身者で進学・就職等のために町外で居住していた者が定住の意思を持って本町に転入した際に就職・開業等に必要となる資格取得に係る経費の一部を助成する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				1,000	300
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	1,000	300
	執行額					297	0
	執行率		—	—	—	29.7%	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		生産年齢人口(人数)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			4,455		4,465	4,475
	実 績 [単位:人]					4,188	3,888
	達成度					93.8%	86.9%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 目標値に対しては及ばなかったものの、3名の資格取得支援を実施し、Uターン者獲得につながった。				
			【R5年度】 HP等で周知したもののUターン者の実績は0件であった。生産年齢人口(人数)については、総人口の減にともない、未達成となった。				
今後の取組方針	R6年度も継続して事業を実施しUターン者の増加に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業							
担当部課	—		事業実施年度	令和3年度～令和5年度				
事業主体	奄美群島12市町村		実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑦キ. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた小規模事業者等への利子補給金に関する事業				交付率	5/10		
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した事業者を対象に、3年間の利子補給を実施し、投資資金や運転資金の確保を図る。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース	予算 の 状 況			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			当初予算			30,003	57,971	50,785
			補正予算					
			前年度繰越					
			翌年度繰越					
			その他増減					
			計	—	—	30,003	57,971	50,785
			執行額			7,570	57,359	50,719
			執行率	—	—	25.2%	98.9%	99.9%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島における総生産額					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 【単位:百万円】						344,123	
	実 績 【単位:百万円】		339,429					
	達成度							
	達成状況 の評価		【R元年度】					
			【R2年度】					
			【R3年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定					
			【R4年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定					
【R5年度】 ※統計数値が示されていないため達成度未定								
今後の取組方針	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している者に対し、利子補給の支援を実施することで産業の活性化を図る。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICTを活用した教育推進事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和5年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	ICTを活用したインターネット塾の開講により、保護者の経済的・時間的・身体的負担を軽減させ、定住促進を図るとともに、村の生徒の学習機会の条件不利性を解消させ、地域を支える人材の確保・育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		5,000	7,700	3,614	2,500
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	—	5,000	7,700	3,614	2,500
	執行額			3,485	2,582	3,284	2,026
	執行率		—	69.7%	33.5%	90.9%	81.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		インターネット塾受講人数(累計)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]		13		35		53
	実 績 [単位:人]			14	20 (6)	29 (9)	31 (2)
	達成度				57.1%		58.5%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 前年度までは受験生である中学3年生のみを受講対象としていたが、基礎的学力の向上を図るため、R2年度より全学年を対象に開講したことにより、1・2年生の基礎学力の向上が図られるとともに勉強に向き合う「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の受講生本人の「人間力」の向上にも繋がることを期待出来る。				
			【R3年度】 引き続き全3学年を対象に開講したことにより、3年生の受験対策が図られた他、1・2年生の基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来たことは、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がることを期待出来る。				
			【R4年度】 引き続き全3学年を対象に前年度と同じく3年生には受験対策を図り、1・2年生には基礎学力の向上を目指して、例年通り開講する予定であったが、コロナ禍の影響により授業様式を集団から個人へ変更を行った。環境の変化はあったものの、生徒が勉強に向き合う環境作りをしたことで、今後の生徒の「人間力」の向上に繋がることを期待出来る。				
			【R5年度】 引き続き全3学年を対象に開塾した。3年生には受験対策を図り、1・2年生には基礎学力の向上が早い段階で培われ、勉強に対する「気持ち」「姿勢」を身につけることが出来た。また、今後の生徒本人の「人間力」の向上にも繋がることを期待できる。				
今後の取組方針	R5年度は前年度と比較して人数が減少している。本事業を開始したH29年度と比較すると参加人数は減少傾向にある。今後、本事業の方針や生徒の「人間力」が将来において、必要とされる事を保護者に伝え、理解していただき生徒の参加を促す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島日本復帰70周年事業 離島甲子園in奄美						
担当部課	—		事業実施年度	令和5年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島日本復帰70周年記念事業として「全国離島交流中学校野球大会事業」を奄美群島で初めて開催する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					14,300
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	—	14,300
	執行額						14,302
	執行率		—	—	—	—	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		当該大会がもたらす経済効果				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:千円]						64,029
	実 績 [単位:千円]						80,300
	達成度						125.4%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】 大会には過去最多の25チームが参加し、目標の1.25倍の経済効果を地元にもたらしことができた。				
今後の取組方針	R5年度の単年度実施事業。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	リュウキュウアユ保護増殖事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和5年度			
事業主体	奄美大島自然保護協議会ヤジ分会		実施市町村名	奄美市, 宇検村, 龍郷町			
事業分類	⑦その他、奄美群島の特性に応じた産業の振興又は奄美群島における住民の生活の利便性の向上に資する事業 エ.自然環境の保全及び再生に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	世界的にも奄美大島にだけ生息するリュウキュウアユは、奄美の世界自然遺産としての価値を構成する希少種・固有種であり、大変貴重な存在である。本事業の実施により、リュウキュウアユの種の保存並びに保護が図られ、世界自然遺産としての価値を維持することが期待される。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					6,456
		補正予算					
		前年度繰越					
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	－	－	－	－	6,456
	執行額						6,456
	執行率		－	－	－	－	100.0%
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①養殖リュウキュウアユの死亡率(5月～10月) ②水生移入生物の駆除数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標						①40.00% ②100
	実 績						①91.49% ②8匹
	達成度						①未達成 ②8.00%
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】 ①目標を上回る死亡率となっており、養殖個体数は大きく減じた。 ②目標を大きく下回る達成度だが、水生移入生物の駆除を平成28年度から継続していることから、外来種の個体数が順調に減っていることが要因であると考えられる。				
今後の取組方針	①天然のリュウキュウアユを採捕することで、養殖個体数の増加及び死亡率の減少に努める。 ②水生移入生物の駆除により、天然のリュウキュウアユが生息する環境に改善に貢献できていると考えられるため、今後も継続する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	まほろば水と森公園地区整備事業							
担当部課	—	事業実施年度	令和4年度					
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村					
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10			
事業内容	奄美野生生物保護センターとクロウサギ保護飼育施設を繋ぐハブ施設として滞在時間を延ばすために公園を周回出来る遊歩道の再整備、看板やベンチ等の休憩施設の改修及び追加、園内外灯や木橋等の測量設計委託を行う。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算					17,500	
		補正予算						
		前年度繰越						
		翌年度繰越						
		その他増減						
	計		—	—	—	17,500	—	
	執行額					17,500		
	執行率		—	—	—	100.0%	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		まほろば水と森公園(野生生物保護センター含む)への入込み客					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:人]						18,000	
	実 績 [単位:人]					0		
	達成度					0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】					
			【R2年度】					
			【R3年度】					
			【R4年度】 R4年度は、園地全体の改修設計を作成した。今後は順次工事を行っていく。					
【R5年度】								
今後の取組方針		令和5年度以降は隣接するクロウサギ保護飼育施設の整備状況とあわせて、順次整備していく、奄美大島の西側の新たな観光ルートを構築する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市 スポーツキャンプ誘客拡大のためのスポーツ施設整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和4年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	「スポーツキャンプ誘客拡大事業」に合わせ、スポーツ施設を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	93,500	60,000	0
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	90,000	0
		翌年度繰越	0		▲ 90,000		
		その他増減	0				
	計		-	-	3,500	150,000	-
	執行額		0	0	2,750	150,000	0
	執行率		-	-	78.6%	100.0%	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				12,000		13,000
	実 績 [単位:人]				9,524	14,372	
	達成度				79.4%	110.6%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 施設整備に向けた実施設計業務委託を実施。本事業により、スポーツ合宿による誘客・交流人口拡大に向けて施設整備を推進することができた。				
			【R4年度】 「スポーツキャンプ誘客拡大事業」に合わせ、スポーツ施設を整備し目標を達成した。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	島の魅力発信事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和4年度			
事業主体	喜界町		実施市町村名	喜界町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	喜界島の自然や魅力を活かし、訴求力の高い動画制作を行う。また、インターネットを通じたプロモーション及び新たな観光スタイルの構築しキャンペーンを実施する等、多角的な観光施策を実施することで、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだイメージと客足の回復を図り、喜界島の自然、食、人の素晴らしさを伝え観光産業を発展させていく事を目的とする。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				28,600	
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		－	－	－	28,600	－
	執行額					28,599	
	執行率		－	－	－	100.0%	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		喜界島への入り込み客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				65,000	67,500	70,000
	実 績 [単位:人]					43,772	
	達成度					64.8%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 4本の映像を制作し、公式Youtubeでの再生回数が4本合計で563万回再生され、各メディアに掲載されたり様々なコメントもあり、認知度向上につながった。				
【R5年度】							
今後の取組方針	広告配信を継続して行うことが大事であるが、予算の措置ができていない。一過性のものにならないように映像をうまく生かしながら島の認知度向上と魅力発信につなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	与論町敷料生産強化事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和4年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	牛舎における糞尿流出による環境への悪影響や牛舎環境の悪化による子牛の疾病やケガ等について改善することを目的に、自走式破砕機等を導入し、敷料の生産機能強化を図り、畜産による環境への影響を抑制するとともに子牛の商品価値の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算				65,725	
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	—	65,725	—
	執行額				0	65,725	
	執行率		—	—	—	100.0%	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論町における生産牛飼養頭数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:頭】		5,524		5,550		5,600
	実 績 【単位:頭】					5,768	
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】 製造能力が向上し、敷料を速やかに供給することが出来た。今後の畜産振興 に向けて施設整備を併せて推進する。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	敷料増産を図ると共に、畜産農家への敷料の使用を推進し、高品質な子牛の生産を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	北山文化圏ロード構築事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和4年度			
事業主体	和泊町		実施市町村名	和泊町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	歴史的につながりのある北山文化圏(特に沖縄県今帰仁村)と、観光協会を交えた広域的な連携・交流を促進し、交流人口の拡大を図るための協議・検討及び地元デザイナー等を活用したプロモーション素材の制作を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	2,264	1,000	
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	0	2,264	1,000	-
	執行額		0	0	18	971	
	執行率		-	-	0.8%	97.1%	-
成果目標及び達成状況	アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標						
	[単位:人]						
	実績						
	[単位:人]						
	達成度						
	達成状況の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】 長期にわたる新型コロナウイルス感染症拡大の影響から昨年に比べても入込客数が減少したことで目標を下回った。また、予定していた沖縄向けのプロモーション活動についても新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施を見送った。					
		【R4年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響も徐々に緩和されてきており、入込数も回復してきてはいるものの目標を下回った。那覇市及び今帰仁村でのプロモーション活動を2年ぶりに実施することができた。R5以降の入込客数の増加に期待する。					
		【R5年度】					
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年連続して沖縄向けのプロモーション活動が中止となっているが、今後の動向を注視しながら実施を検討する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	与論町・国頭村連携 遺産ロード構築事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和元年度～令和4年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	ヨロン島観光協会を中心として、沖縄県北部地域と一体となった旅行商品の造成やプロモーションの実施、沖縄県北部の国頭村と連携して魅力を発信する広域観光イベントの開催等を行い、広域観光商品の取組を広く周知し、効果的かつ戦略的な誘客を図るとともに、沖縄本部港～与論～奄美各島という広域観光ルートの構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			2,510	7,776	
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	-	-	2,510	7,776	-
	執行額				2,250	7,776	
	執行率		-	-	89.6%	100.0%	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		本部港からの入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]				10,000		11,000
	実績 [単位:人]				3,693	5,378	
	達成度				36.9%	48.9%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 沖縄県国頭村との連携によるイベントやPR活動を当初予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント等が中止となった。				
			【R4年度】 沖縄県国頭村との連携による物産フェアやPRイベントを開催するとともに沖縄北部～ヨロン島周遊観光PR動画制作により沖縄北部地域からの誘客を図った。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美自然観察の森整備事業						
担当部課	環境林務部 自然保護課 奄美世界自然遺産登録推進室		事業実施年度	令和元年度～令和4年度			
事業主体	龍郷町		実施市町村名	龍郷町			
事業分類	⑦ーエ 自然環境の保全及び再生に関する事業				交付率	5／10	
事業内容	奄美・沖縄の世界自然遺産登録後の観光客の増加を見据え、遺産地域への集中利用を避けるための気軽に奄美の森を体験できる施設として整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	117,000	108,000	105,000	0	
		補正予算			▲ 15,000		
		前年度繰越	115,600	117,000	69,640	59,470	
		翌年度繰越	▲ 117,000	▲ 69,640	▲ 59,470		
		その他増減					
		計	115,600	155,360	100,170	59,470	-
	執行額		116,794	155,770	103,020	55,137	
	執行率		101.0%	100.3%	102.8%	92.7%	-
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美自然観察の森利用者数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標		17,000人 (中間目標値)		20,000人 (最終目標値)			
実 績		19,041人	3,830人	2,623人	12,207人	20,739	
達成度		112%	-	13%	61%	104%	
達成状況 の評価		【R元年度】 ボードウォークの改修、展望デッキ撤去・新設、トイレの新設、パノラマトリ デの補修、園路整備、バス駐車場の整備等を実施した。(前年度繰越予算) 整備工事は、途中であるものの、世界自然遺産の登録の気運が高まってきてお り、気軽に奄美の森を体験できる施設として、利用者数が増加し中間目標値を達 成した。					
		【R2年度】 森の館(管理・展示施設)に係る敷地造成・建築・電気・機械設備・外構工事、アコウ観 察路の新設、ドラゴントリデ(展望台)・四阿の補修、水景施設(池、流れ工)工事、園路 工事等を実施した。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者数が激減したことから中間目標値の 達成が困難となった。					
		【R3年度】 園路及び園路広場、野鳥観察施設(昆虫小屋、池)、休憩・学習施設、指示標識、IoT 整備等を実施した。 8月から3月まで工事に伴う閉園期間と併せて新型コロナウイルス感染症の拡大によ り、利用者数が激減したことから中間目標値の達成が困難となった。					
		【R4年度】 令和3年度予算の繰越で園路及び指示標識の工事を実施した。 新型コロナウイルス感染症の拡大及び4月から9月までの工事に伴う閉園により、利 用者数が減少したことから最終目標値の達成が困難となった。					
		【R5年度】 新型コロナによる行動制限が解除され、利用者数も回復傾向であり最終目標値を達 成することが出来た。					
今後の取組方針	令和4年10月8日のリニューアルオープン以降、地域内外の観光客等から利用されている。今 後も龍郷町と連携しながら施設の利用促進に努めたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	あやまる岬エリア整備事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和4年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	奄美市北部地域の貴重な観光資源である「あやまる岬観光公園」を拠点とした観光ルートの確立情報発信,休憩,老朽化施設等の整備・拡充を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	30,440	30,611	61,724		
		補正予算	31,112				
		前年度繰越	0	31,082	0	2,924	0
		翌年度繰越	▲ 31,082		▲ 2,924		
		その他増減	0				
		計	30,470	61,693	58,800	2,924	－
	執行額		21,254	61,693	58,800	2,924	
	執行率		69.8%	100.0%	100.0%	100.0%	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		あやまる岬観光公園来園者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			118,000	118,000	120,000	
	実 績 [単位:人]		118,475	56,370	62,771	127,362	
	達成度			47.8%	53.2%	106.1%	
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度において令和2年度目標値を上回り着実に事業効果が上がっている。令和2年度についてはコロナの影響により実績低下の見込み				
			【R2年度】 令和元年度実績において、令和2年度目標を達成していたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度の実績は減少				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響が長引き、目標は未達成ながらも、回復傾向にある。				
			【R4年度】 新型コロナウイルスの影響も収まりつつあり、目標を達成。R5年度以降はコロナ禍前の実績以上を見据える。				
【R5年度】							
今後の取組方針	令和6年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大金久海岸環境整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度～令和4年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	大金久海岸周辺一帯の遊歩道施設の有効利用のため、崩れてしまっている箇所を修繕し、かつ、トレーニングコースとしても利用できるようゴム舗装にするなどの遊歩道の再整備を行い、一体の景観整備も併せて進め、エコツーリズムやスポーツツーリズムの推進による観光客の増を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			17,530	17,248	
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	17,530	17,248	-
	執行額				16,575	17,248	
	執行率		-	-	94.6%	100.0%	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]				80,000		90,000
	実績 [単位:人]				42,694	51,258	
	達成度				53.4%	57.0%	
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 老朽化した既存遊歩道をゴムチップ舗装に改修整備し、併せて沿道不毛地帯の植栽を行った。舗装に関しては、長さ195.5m、幅1.5mとなっている。百合ヶ浜及び遊歩道散策による観光客の滞留増加を図るため、施設整備を推進することできた。				
			【R4年度】 老朽化した既存遊歩道をゴムチップ舗装に改修整備し、併せて沿道不毛地帯の植栽を行った。舗装に関しては、長さ180m、幅1.5mとなっている。百合ヶ浜及び遊歩道散策による観光客の滞留増加を図るため、施設整備を推進することできた。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	一部未整備の箇所があることから、次年度でもゴムチップ舗装及び沿道不毛地帯への植栽を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	与論町資源循環型農業促進事業						
担当部課			事業実施年度	令和3年度～令和4年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	与論町			
事業分類	② 農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	敷料保管庫及び原料集積場の整備を行い、敷料生産強化を図る。副資材保管倉庫を整備し、堆肥製造効率の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			20,000		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	20,000	0
		翌年度繰越			▲ 20,000		
		その他増減					
	計		-	-	0	20,000	-
	執行額				0		
	執行率		-	-	-	-	-
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論町敷料化ラブセンター敷料出荷量(m³)及び堆肥センター堆肥出荷量の計 ※堆肥出荷量についてはトン数をm³換算する。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 【単位:m³】			3,982		4,500	6,000	
実 績 【単位:m³】				590.5	4,516		
達成度					100.4%		
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】 整備する設備について、事業計画の再検討を行い、翌年度に事業を繰り越した。					
		【R4年度】製造能力が向上し、目標値に達成することが出来た。今後の増産に向けて施設整備を併せて推進する。					
		【R5年度】					
今後の取組方針	施設整備を推進しながら、敷料生産強化・堆肥製造効率の向上を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和村交流・関係人口創出事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度～令和4年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	廃校施設を改修し、コワーキング施設整備することで、交流・関係人口の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			80,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	80,000	0
		翌年度繰越			▲ 80,000		
		その他増減					
	計		—	—	0	80,000	—
	執行額					79,004	
	執行率		—	—	—	98.8%	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		施設利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]					100	400
	実 績 [単位:人]				0	33	
	達成度				0	33.0%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 ※R4年度へ繰越				
			【R4年度】 建物の工事期間が令和4年9月から令和5年3月末までであり、その期間の利用ができなかったため実績数が少なくなった。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和5年度にWi-Fi整備を行い本格的にコワーキング施設の利用が開始するため、施設の広報等を行い利用促進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾地区観光総合案内所駐車場整備						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和4年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	湯湾地区観光総合案内所の駐車場整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			30,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	30,000	0
		翌年度繰越			▲ 30,000		
		その他増減					
	計		-	-	0	30,000	-
	執行額					29,996	
	執行率		-	-	-	100.0%	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]		0	2,000			6,000
	実 績 [単位:人]			0	0	37,441	
	達成度					624.0%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 ※R4年度へ繰越				
			【R4年度】 駐車場を整備したことにより、来訪者の利便性が向上し、来訪者の増加に繋がった。				
【R5年度】							
今後の取組方針	施設使用者が駐車場を適正に利用するよう周知し、観光総合案内所を利用することで満足度向上と、村内での滞在促進を図っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	清水地区トイレシャワー施設整備事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和3年度～令和4年度			
事業主体	瀬戸内町		実施市町村名	瀬戸内町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	瀬戸内町清水地区の海水浴場にトイレ・シャワー施設を整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			45,257		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	29,479	0
		翌年度繰越			▲ 29,479		
		その他増減					
	計		－	－	15,778	29,479	－
	執行額				12,200	29,479	
	執行率		－	－	77.3%	100.0%	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		瀬戸内町への年間入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				170,000		
	実 績 [単位:人]				89,365	113,451	
	達成度				52.6%	66.7%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 当初令和4年3月完成予定であったが、資材等の搬入がコロナ禍により遅延し、繰越事業となった。				
			【R4年度】 新型コロナウイルス感染拡大による来島自粛等によって、入込客数が減少したが、今後は増加が見込まれる。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和4年4月に完成し、5月から利用を開始した。癒やしの島を満喫できるように観光客の受入増加を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	旧荒木小学校改修工事						
担当部課	—		事業実施年度	令和3年度～令和4年度			
事業主体	喜界町		実施市町村名	喜界町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	旧学校施設を改修し、サテライトオフィス、コワーキング施設、フードコート、などを整備し多様な働き方を実現し交流人口、定住人口の増加を目指す。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			79,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	79,000	0
		翌年度繰越			▲ 79,000		
		その他増減					
		計	—	—	0	79,000	—
	執行額					79,004	
	執行率		—	—	—	100.0%	—
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		喜界島への入込客数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 〔単位:人〕				65,000		70,000	
実 績 〔単位:人〕				38,492	43,772		
達成度				59.2%	62.5%		
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】 設計委託の発注。					
		【R4年度】 サテライトオフィス、コワーキングスペース、フードコート等を整備した。					
		【R5年度】					
今後の取組方針	サテライトオフィスへの企業誘致に力を入れつつ、利用客の満足度向上を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和城観光地連携整備事業						
担当部課	商工水産観光課	事業実施年度	令和元年度～令和4年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	見晴らしの良い絶景ポイントとなっている大和城の周辺整備等を実施し、観光客等の利便性向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	63,500	46,000	24,922		
		補正予算	30,500		42,000		
		前年度繰越	0	30,500	25,440	62,071	0
		翌年度繰越	▲ 30,500	▲ 25,440	▲ 62,071		
		その他増減	0	16			
		計	63,500	51,076	30,291	62,071	-
	執行額		63,500	51,075	30,285	62,320	
	執行率		100.0%	100.0%	100.0%	100.4%	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:人]				130,000		132,000
	実績 [単位:人]		142,734	80,480	90,807	120,177	
	達成度				69.9%		
	達成状況 の評価	【R元年度】	後年度の目標値まで達成したことは評価できる。しかし整備は半ばであるため、今後も入込客数の更なる増加につながるよう事業推進を図るとともに世界自然遺産登録を見据えた環境と自然に配慮した事業推進を図る。				
		【R2年度】	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度実績を大きく下回ったが、アフターコロナを見据え、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
		【R3年度】	新型コロナウイルス感染症の影響から、若干回復傾向にある。アフターコロナを見据え、令和3年度末に運用を開始した大和城バンガローを軌道に乗せ、さらなる入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。				
		【R4年度】	施設の運用が開始され、利用客も増えつつある。利用者に快適に過ごしていただけるような運用・予算確保、島内外の認知度が低いため、PRにも工夫していきたい。				
		【R5年度】					
今後の取組方針	入込客数の更なる増加につながるよう、環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに、世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	旧徳之島農業高等学校55棟改修設計						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和4年度				
事業主体	伊仙町	実施市町村名	伊仙町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	旧徳之島農業高校を一部改修しサテライトオフィスを整備し、多様な働き方を実現し交流人口、定住人口の増加を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			13,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	13,000	0
		翌年度繰越			▲ 13,000		
		その他増減					
	計		-	-	0	13,000	-
	執行額				0	8,900	
	執行率		-	-	-	68.5%	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		施設全体の利用者の延べ数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				1,000	1,100	1,200
	実 績 [単位:人]					1,568	
	達成度					142.5%	
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】					
		【R4年度】 コロナ明けも重なり、来訪者が前年の3倍となっている。					
		【R5年度】					
今後の取組方針	R6年度中の改修を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光施設看板設置工事						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和4年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	撮影スポットに施設名看板を設置し撮影してもらうことで、SNS上などでの注目度を上げ、交流人口増を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算			2,500		
		前年度繰越	0	0	0	2,500	0
		翌年度繰越			▲ 2,500		
		その他増減					
		計	-	-	0	2,500	-
	執行額					2,454	
	執行率		-	-	-	98.2%	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		喜界島への入り込み客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				65,000		70,000
	実 績 [単位:人]					43,772	
	達成度					62.5%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 ※R4年度へ繰越				
			【R4年度】 主要観光スポット3カ所(百の台・スギラビーチ・一本道)へ、名称を示す看板を設置し、観光客に対して案内的役割と、SNSによる喜界町のPRを行った。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	台風常襲地帯のため、台風対策などを十分に行い、看板保護に努める、また観光スポットと看板を絡めたSNS発信による喜界町のPRを図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	里久浜トイレ・シャワー施設等整備						
担当部課		事業実施年度	令和3年度～令和4年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	世界自然遺産登録後の観光客増加が見込まれることから、里久浜海岸の多目的トイレの整備と駐車場整備も同時に行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算			40,000		
		前年度繰越		0	0	40,000	0
		翌年度繰越			▲ 40,000		
		その他増減					
		計	-	-	0	40,000	-
	執行額						
	執行率		-	-	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		施設利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				7,162		9,000
	実 績 [単位:人]				8,250	720	
	達成度				115.2%	8.0%	
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 ※R4年度へ繰越				
			【R4年度】 R4. 1月に完成。そのため、目標には達しなかった。今後、利用者増加が見込まれる。				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和4年度で、トイレ・シャワー施設を工期内に完成することができた。 今後、利用者が増える見込み。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	秋名地区「環境文化の学び舎」整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和3年度			
事業主体	龍郷町		実施市町村名	龍郷町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10
事業内容	国立公園普通地域である秋名集落と鹿児島大学が連携し、「環境文化の学び舎」となる施設を整備する。「生態系管理の学び舎」である奄美自然観察の森整備と併せて、「自然とのつながりを感じるシマの暮らし」を観光資源として交流人口増加を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		8,000	82,652		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		—	8,000	82,652	—	—
	執行額			6,457	78,621		
	執行率		—	80.7%	95.1%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		「環境文化への学び舎」来館者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			0			6,000
	実 績 [単位:人]			0	50		
	達成度				0.8%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響で大学との連携事業が実施できなかったが、数度の住民意見交換会を踏まえ、基本実施設計を実施した。				
			【R3年度】 本体工事着工・完了。令和4年4月に供用を開始する。 本事業により、交流人口の増加に向けて施設整備を推進することができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	奄美群島国立公園地域に含まれる同地区の秋名集落において、シマの日常の暮らしぶりや伝統文化である「秋名アラセツ行事」を、見て・触れて・知る施設として位置付け。奄美大島の新たな観光ルート(県道ルート)として、観光振興に取り組む。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	笠石海浜公園周辺整備事業						
担当部課	-		事業実施年度	令和3年度			
事業主体	和泊町		実施市町村名	和泊町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	笠石海浜公園内のゆり園に休憩施設を整備し、利用者の満足度向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算			35,302		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	-	35,302	-	-
	執行額				30,417		
	執行率		-	-	86.2%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		笠石海浜公園に訪れる観光ツアー客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標				4,700		5,000
	[単位:人]						
	実 績		3,450	1,779	2,117		
	[単位:人]						
	達成度				45.0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度から令和3年度にかけて入込客の減少やツアーのキャンセル等が増加したことで目標を大幅に下回った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症拡大の影響にもよるが、笠石海浜公園の環境整備による利便性向上が図られたことの周知・啓発を島内旅行関係団体(観光協会及びバス企業団等)に行うことで観光ツアーによる誘客促進を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美フォレストポリス再整備事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	世界自然遺産登録を見据え、奄美フォレストポリスを再整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	0	3,600	71,300		
		補正予算	67,586				
		前年度繰越	94,506	67,586	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 67,586				
		その他増減	290				
		計	94,796	71,186	71,300	—	—
	執行額		94,796	71,110	71,038		
	執行率		100.0%	99.9%	99.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美フォレストポリスへの入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				23,000		25,000
	実 績 [単位:人]		14,711	12,598	11,892		
	達成度			54.8%	51.7%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 観光者かき入れ時の夏場にLCC航空会社の奄美路線の停止期間があり客足が伸び悩んだ。奄美フォレストポリス再整備は半ばであり、今後の入込客数の更なる増加につながるよう着実な事業推進を図っていく。				
			【R2年度】 新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減により来園者、宿泊者が落ち込んだ。また世界遺産登録も延期となったが、村によるマイクロツーリズムの推進したことにより、宿泊者数は増加へ転じることもあり、アフターコロナを見据え、より一層推進を図る予定としている。				
			【R3年度】 新型コロナウイルスの影響で島外の観光客の激減、感染防止による閉園等により来園者、宿泊者が落ち込んだままであった。念願であった世界遺産登録による観光客増加を見込んでいたが、その期待は来年度への持ち越しとなった。今後も順次再整備を行い、新たな観光客を取り込める魅力ある施設へ推進を図りたい。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	引き続き世界自然遺産登録後の観光客増加も見据えた計画的な奄美フォレストポリス園地全体の再整備を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ゲストハウス整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光客に集落の雰囲気や環境を体験してもらい、集落民との交流を感じる機会・環境を提供するためのゲストハウスを整備し、観光満足度を向上させることで、交流人口の増加を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			28,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	28,000	—	—
	執行額				23,560		
	執行率		—	—	84.1%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	ゲストハウス稼働日数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:日]			0		100	150
	実績 [単位:日]				0		
	達成度				0		
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】					
		【R3年度】 中長期滞在が可能となるゲストハウスが整備されたことにより、利用者が集落での生活を体感出来る環境が整ったことから村内での滞在時間増加による観光外貨獲得でなく、「交流人口」→「関係人口」→「定住人口」への転換が期待できる。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	事業効果をより一層効果的に発揮するためにゲストハウスの稼働率向上を図ることを目的としたICTを活用した集客計画を推進したい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	国直うみがめ公園整備事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和3年度				
事業主体	大和村	実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	国直うみがめ公園に大型遊具を設置し、家族連れの観光客への訴求力を更に向上させる。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			53,000		
		補正予算					
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	53,000	—	—
	執行額				45,825		
	執行率		—	—	86.5%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		体験事業による年間受入人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				1,200		3,000
	実 績 [単位:人]				465		
	達成度				38.8%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 複合遊具の設置を図り、ウミガメ公園が完成したが、コロナの影響により観光客の減少により、体験事業による受入人数は伸びなかったが、マイクロツーリズムの推進を図った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	「国直ウミガメ公園」が完成し、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境ができることにより、家族連れの訴求力を高めることができた。今後、滞在時間・交流人口の拡大が期待されることから、更なる誘客の促進を図っていく必要がある。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICT先進技術習得事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	情報通信産業自体の振興や、その他各種産業の情報化による経済活動活性化や、生産性向上を図るための人材育成として「島外スキルアップ助成事業」及び「先進技術習得事業」を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	7,484	7,484	7,484		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		7,484	7,484	7,484	—	—
	執行額		7,177	6,612	6,395		
	執行率		95.9%	88.3%	85.4%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①先進技術習得事業での研修受講者数 ②島外スキルアップ事業での研修受講者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			①180人 ②6人	①270人 ②9人		
	実 績 [単位:人]		①115人 ②4人	①195人 ②5人	①286人 ②6人		
	達成度			①108.3% ②83.3%	①105.9% ②66.7%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 事業撤退やコールセンター業務を行う企業の雇用人数削減から基準年度(H29年度)の760名から減少しているが、既存事業所の人員増や新規事業者も発生しており、目標に向けて進んでいる。				
			【R2年度】 全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響のなか、島外への渡航や各企業の活動が抑制され、特に島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し、②については目標値に達することができていない。				
			【R3年度】 ICT関連企業従事者に対する先進技術習得のための研修講座を開催し、①については目標達成したものの、島外スキルアップ事業の活用事業者が減少し、②については目標値に達することができていない。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	情報通信関連企業や従事者等に対するICTに関する技術及びサービス活用方の習得支援について、R3年度に整備したWorkStyle Labの活用や既存企業への外部人材の招聘支援により実施することで、事業拡大による雇用人数増加やフリーランスの事業主化を促進する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島チャレンジ人材育成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョンに掲げた戦略の基本方策に基づき、民間主導型の新たな産業振興モデルを構築するための人材の確保、育成、教育を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	31,668	30,488	26,692		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	31,668	30,488	26,692	—	—
	執行額		27,264	27,301	25,101		
	執行率		86.1%	89.5%	94.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島の自立的発展実現のため、民間企業等の主導による新たな産業振興モデル構築に繋がる起業家的人材及び新規商品・サービスの創出件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:件]			15			40
	実 績 [単位:件]		7	11	10		
	達成度			73.3%	25.0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 奄美群島民間チャレンジ支援事業で7件が採択された。 併せて、奄美群島スタートアップ支援実証事業で群島独自のクラウドファンディングサイトの構築・運営するための先進地視察を行った。				
			【R2年度】 民間チャレンジ: 募集件数33件 採択件数11件 起業家人材育成: 新規受講生10名 奄美群島でシゴトを創るゼミを開催 スタートアップ支援事業: クラウドファンディングサイト「FAAVO奄美群島」を開設 (6件起案、調達金3,545,100円)				
			【R3年度】 民間チャレンジ: 募集件数47件 採択件数11件 事業完了10件 起業家人材育成: H26年度～R2年度までの成果をまとめ、課題と成果の整理を行った スタートアップ支援事業: クラウドファンディングサイト「奄美群島 with CAMPFIRE」を開設(5件起案、調達金4,231,607円)				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデルの充実化を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	人材育成成果発表会						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合	実施市町村名	奄美群島12市町村				
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	5/10		
事業内容	広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が自らの受講体験を広く地元住民等に対して語る(プレゼンする)機会を創出することにより、次年度以降の事業参加者の掘り起こしを行うとともに、参加者間の連携の促進や認知度の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	3,600	4,180	5,073		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	93			
		計	3,600	4,273	5,073	—	—
	執行額		3,600	4,273	5,000		
	執行率		100.0%	100.0%	98.6%	—	—
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		奄美群島の自立的発展実現のため、民間企業等の主導による新たな産業振興モデル構築に繋がる起業家的人材及び新規商品・サービスの創出件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:件]			15			40
	実 績 [単位:件]		7	11	12		
	達成度			73.3%	30.0%		
	達成状況 の評価	【R元年度】 龍郷町において人材育成成果発表会を開催された。7名の話し手が自らの受講体験等を発表した。 併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、6社が出店した。約150名参加。					
		【R2年度】 伊仙町において人材育成成果発表会を開催した。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、4社が出店。約80人が参加。					
		【R3年度】 与論町での開催を予定していたが、新型コロナの影響によりオンラインでの開催となった。7名が自らの体験等を発表。併せて奄美群島民間チャレンジ支援事業見本市を同時開催し、5社が出店。9/22現在 1,629回視聴。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	次年度以降も広域事務組合の実施する人材育成事業参加者が、自らの受講体験を広く地元住民等に対して語ることで新たな人材の掘り起こしを図る。 併せて、広域事務組合の実施する人材育成事業認知度の更なる向上を目指す。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光動向調査						
担当部課	—		事業実施年度	令和3年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	1年間に奄美群島を訪れた国内観光客の人数, 滞在日数, 年代, 性別, 居住地等のデータを月ごとに取得するほか, 移動分析で観光客の動向を調査し, 今後の観光戦略の基礎データとする。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算			6,371		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	—	6,371	—	—
	執行額				6,371		
	執行率		—	—	100.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数の内、観光客数 (当事業内において実施している観光振興基礎調査に基づいて推計)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			359,780			386,251
	実 績 [単位:人]				406,750		
	達成度				105.3%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】				
			【R3年度】 携帯電話のGPSデータを基に奄美群島内110箇所への滞在者の居住地・性別・年齢等の属性を分析することにより、今後の観光戦略の基礎データを構築した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	観光戦略に繋がるよう、成果物を各市町村へ配布した。令和3年度にて事業終了。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島観光プロモーション動画制作事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和3年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島観光物産協会や各島観光連盟・協会といった観光事業者との連携により、訴求効果の高い群島全体の観光PR動画を制作する。また、デジタルマーケティングにより、観光客のターゲット設定を行うことで、奄美群島への更なる観光誘客拡大を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		1,188	25,408		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	1,188	25,408	—	—
	執行額			966	25,050		
	執行率		—	81.3%	98.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数の内、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			359,780			386,251
	実 績 [単位:人]			301,523	406,750		
	達成度			84%	105.3%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプロモーション動画を制作するため、有識者と共に各島の景勝地等を視察し、12市町村、地元有識者と協議の上、撮影候補地を選定した。				
			【R3年度】 奄美群島の自然・文化といった観光資源を活用したプロモーション動画を制作し、YouTubeでの配信を行い、観光PRを実施した。本事業により奄美群島への更なる観光誘客拡大を図った。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	動画広告を配信することで得られる視聴者の属性(年代、性別、国)、興味等を把握・分析。分析データによりターゲットに応じた施策検討を行い、より効果的なプロモーションを図ることで認知度向上につなげる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	戦略的情報発信支援事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度～令和3年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業					交付率	6/10
事業内容	近年の奄美群島の注目度増大の機会を捉え、大手デジタルメディア事業者、群島内情報事業者と連携し群島の情報発信を行いつつその効果を調査することで、戦略的な情報発信やマーケティングを展開するスキルを備えた民間事業者の育成を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		8,337	8,966		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	—	8,337	8,966	—	—
	執行額			8,317	8,053		
	執行率		—	99.8%	89.8%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①広告の効果性(注目度) ②広告の効果性(誘導率) ③事業者の情報発信力の向上率				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①②回 ③%】		①0回 ②0回 ③0%		①100,000回 ②1,000回 ③70%		①150,000回 ②1,500回 ③80%
	実 績 【単位:①②回 ③%】			①293,892 ②3,233 ③70%	①192,534 ②32,703 ③192%		
	達成度				①192.5% ②3270.3% ③274.3%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 yahooスポンサードコンテンツを活用し8記事を掲載した。全記事の総PV数は293,892回となった。スキルアップ研修については、群島各島において実施(民間事業者32名参加)				
			【R3年度】 yahooスポンサードコンテンツを活用し17記事を掲載した。全記事の総PV数は192,534回となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	群島内情報発信事業者と大手デジタルメディアの連携による訴求力の高い情報発信を行いつつ、民間事業者の情報発信スキルアップを図った。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美海洋展示館リニューアル事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美の自然や観光、道路等の防災情報を伝える施設のリニューアルを推進することで、奄美大島全体をテーマパークと見立てた各種施設とフィールドの連動プログラムを創出し、地域全体を観光産業フィールドとして地域の稼ぐ力の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算		160,114			
		補正予算					
		前年度繰越		0	116,868	0	0
		翌年度繰越		▲ 116,868			
		その他増減					
	計		-	43,246	116,868	-	-
	執行額			43,245	116,672		
	執行率		-	100.0%	99.8%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		利用者アンケート項目「施設・サービス内容」の大変満足・満足度				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:%]				70		
	実 績 [単位:%]			61	65.7		
	達成度				93.9%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 R3年度へ繰越し				
			【R3年度】 リニューアル事業完了後の指標は達成できなかったが、概ね目標値に近い数値となった。コロナ禍による運用面の課題が残る。				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	今後は更なる満足度向上に繋がるよう運用面も含め改善を図っていききたい。また、他施設への回遊を促す仕組みづくりを強化し、更なる観光振興へと繋げる。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい観光スタイル構築推進事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	世界自然遺産登録後に増加する国内外の観光客に対応するために、誘客及び受入体制の強化を図る。 ・誘客・受入体制強化事業 ・インバウンド受入支援 ・旅行商品造成事業						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	41,025	14,767	19,910		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	41,025	14,767	19,910	－	－
	執行額		35,056	14,767	19,908		
	執行率		85.5%	100.0%	100.0%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア) ②島の健康資源を活かした旅行商品造成数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:①%②〕		①64% ②0件	①66% ②2件	①68% ②4件		
	実 績 〔単位:①%②〕		59	①62.2% ②0件	①47.7% ②0件		
	達成度		92.1%	①94.2% ②0%	①70.1% ②0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 キャッシュレス対応や二次交通パンフレットなど課題とされていた受け入れ態勢に取り組んだところである。アンケート調査による奄美観光への大変満足と回答した割合は59%であり、目標には到達していないが、引き続きアンケート等から把握する奄美の魅力を活かし、課題の克服に取り組むべきである。				
			【R2年度】 島の健康資源を活かした旅行商品造成事業として、奄美大島の健康資源の調査、健康体験プログラムの作成、セラピスト養成講座及び販促ツール(パンフレット)制作を実施した。しかし新型コロナウイルスの影響により施設の閉鎖、島内限定利用期間などもあり、旅行商品を造成し販売するに至らなかった。				
			【R3年度】 満足度低下の要因として、新型コロナウイルス感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	依然としてコロナ感染症の影響を大きく受けている状況であるが、コロナ禍の状況にあっても感染防止と地域経済の両立に向け、世界自然遺産登録を追い風に、地元事業者、DMO等と連携して安全・安心な奄美観光に柔軟に取り組んでいく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬戸内町旅行商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	奄美せとうち観光協会と連携し、体験メニューツアーを利用する観光客を対象にプレミアム分を付加した利用券を販売するとともに、購入者にアンケートを実施し、体験メニュー提供者にフィードバックすることで、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップを図り、エコツアーガイドも巻き込みつつ、観光客の増加・定着を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	3,000	3,000	3,000		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	3,000	3,000	3,000	—	—
	執行額		2,999	2,999	3,000		
	執行率		100.0%	100.0%	100.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①瀬戸内町への年間の入込客数 ②観光メニュー参加者数 ③新規観光メニュー開発数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①②人③件]		140,000	①140,000 ②600 ③2	①150,000 ②650 ③5		
	実 績 [単位:①②人③件]		150,081	①93,660人 ②295人 ③2	①89,365 ②468 ③4		
	達成度		107.2%	①66.9% ②49.2% ③100.0%	①59.6% ②72.0% ③80.0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 目標を達成した。昨年度は前年度比500名程度の伸びであったが、本事業を行った今年度は6,000人の伸びとなった。				
			【R2年度】 ①②についてはコロナの影響で目標を大きく下回ったが、③についてはアクティビティ関連のメニューを目標数開発できた。				
			【R3年度】 コロナの影響で目標には届かなかったが、観光メニュー参加者数は、大幅に増加した。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	計画通り今年度(R3)まで本事業を実施し、魅力的な観光商品の開発や既存メニューのブラッシュアップを行い、入込客の増による観光業の活性化を図る。併せてコロナ感染症対策を万全に整えて、安心・安全な観光スタイルを構築する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島町滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	域内の観光資源を十分に活用する旅行商品を造成し、滞在プランのモニターや広告宣伝等に取り組み、長期滞在者の増加及び体験型滞在プランの充実と満足度の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		7,000			
		前年度繰越		0	1,250	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,250			
		その他増減					
	計		-	5,750	1,250	-	-
	執行額			3,278	950		
	執行率		-	57.0%	76.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①コース ②10人 ③0人】		①9コース ②10人 ③0人	①10コース ②20人 ③100人			①12コース ②60人 ③300人
	実 績 【単位:①コース ②③人】			①6コース ②2人 ③28人	①5コース ②35人 ③35人		
	達成度			①60% ②10% ③28%	①41.7% ②58.3% ③11.7%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 事業計画のうち、宿泊割引がコロナの影響で実施できずに、翌年に繰り越した。				
			【R3年度】 昨年同様にコロナの影響で事業実施のタイミングが掴めなかった。				
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今後はコロナの落ち着いた状況をみて検討していきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島型モデル ICT活用教育推進事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業			交付率	6/10		
事業内容	離島や小規模校でのICTを活用した少人数指導の良さや手法を県下に発信するとともに、本県の地理的特徴から困難とされる児童生徒同士の学び会いや多様な体験を通した学習を支援することにより、コミュニケーション能力・コラボレーション能力など21世紀型スキルを養い伸ばす教育の充実、教職員の資質向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	4,137	28,000	3,500		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	4,137	28,000	3,500	—	—
	執行額		3,158	27,810	3,487		
	執行率		76.3%	99.3%	99.6%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①ICT活用校数 ②県との全国学力・学習状況調査における主要2科目(国語・算数)の平均通過率の平均比較				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①校②%]				①4校 ②100%		①6 ②102%
	実 績 [単位:①校②%]		①3校	①4校	①4校 ②133%		
	達成度				①100% ②133%		
	達成状況 の評価	【R元年度】 町内北部3小学校(母間、花徳、山)における遠隔授業の実施。教職員研修によるスキルアップ。					
		【R2年度】 町内北部4小学校(母間、花徳、山、手々)に遠隔授業用CT機器の更新・導入、及び地区指定4校合同遠隔授業の実施。教職員研修によるスキルアップ。					
		【R3年度】 町内北部4小学校(母間、花徳、山、手々)の地区指定4校合同遠隔授業の実施することにより、児童・生徒の学力維持・向上、教職員のスキルアップを図った。その結果、主要科目の平均比較では目標を大きく上回った。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	今後も地区指定校の合同遠隔授業を推進していくとともに、教職員のスキルアップを図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	スマートアイランド推進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑦イ. 防災対策の推進に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島の低炭素化に向けたエネルギー施策の推進及び奄美群島における災害時の電力供給安定化を図るため、再生可能エネルギー（小型風力）によるマイクログリッドを構築する実証実験を行う。また、低炭素モビリティの導入と充電設備の確保を図るため、電動モビリティの安定的な運用に蓄電池がどれだけ必要かを実測する実証実験を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		27,735	46,242		
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	27,735	46,242	-	-
	執行額			25,929	45,507		
	執行率		-	93.5%	98.4%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①化石燃料由来の既存電源から再エネ由来の独自電源を使用する電力量の増加 ②化石燃料モビリティから再エネ由来の電動モビリティに切り替えた移動距離の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①kWh②km】		0	①5,000kWh ②5,000km	①10,000kWh ②10,000km		
	実 績 【単位:①kWh②km】			①1,255kWh ②0km	①4,581kWh ②156km		
	達成度				①45.8% ②1.6%		
	達成状況 の 評価		【R元年度】				
			【R2年度】 モビリティに関しては今年度の事業概要に含まれておらず実証ができなかったため、次年度電動モビリティを導入した実証実験を行う。				
			【R3年度】 電動モビリティを導入し、観光客向けに貸出を行ったが、コロナ禍ということもありそもそも観光客の入込数が例年と比較し激減したため、目標としていた走行距離には満たなかった。しかしながら利用者を対象にしたアンケートにおいては前向きな意見が大半を占めていたため、今後の展望としては電動モビリティ等の利用拡大が期待される。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	電動モビリティの追加導入・充電スポットの拡充・利用対象者の拡大等を検討する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	スマートフォンを活用した観光客満足度向上事業						
担当部課		事業実施年度	令和3年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	観光アプリを開発し、観光地までの道案内やシマ歩きツアーの紹介、スタンプラリーの実施などアプリの多彩な機能を活用し、楽しみながらシマを巡る体験型観光を提供する。また、観光アプリの開発に併せ、1泊以上宿泊し、アプリ開発のためのアンケート調査に協力した方を対象にクーポン券を贈呈し、滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算			3,135		
		補正予算		9,310			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	9,310	3,135	-	-
	執行額			8,781	3,135		
	執行率		-	94.3%	100.0%	-	-
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		喜界島への年間の入込客数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 【単位:人】				65,000		70,000
	実績 【単位:人】			45,848	38,492		
	達成度				59.2%		
	達成状況の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 観光アプリの導入を行った。管理運営が今後の課題である。					
		【R3年度】 3D AR機能を導入することで観光客が島の成り立ち名等をイメージしやすくなった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	様々な機能が揃ったところで今後の活用を検討していくことで、観光客が快適に観光できる環境を整えていきたい。また、多彩な機能をさらに充実させ、島の魅力をデジタルでも発信できるよう努めていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	喜界町旅行商品造成事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和3年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	喜界島観光物産協会と連携してプレミアム付き体験メニュー利用券を販売し、購入者のアンケート結果を体験メニュー提供者にフィードバックすることで、五感で喜界島を感じることができる新しいメニュー開発や既存メニューのブラッシュアップ等を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	2,061	6,214	5,380		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	156			
		計	2,061	6,370	5,380	—	—
	執行額		169	6,370	5,177		
	執行率		8.2%	100.0%	96.2%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①喜界島への年間の入込客数 ②観光プログラム参加者数 ③奄美らしい観光プログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①②人③件]				①65,000 ②200 ③22		①70,000 ②350 ③25
	実 績 [単位:①②人③件]		59,634	①45,848 ②232 ③16	①38,492 ②330 ③12		
	達成度				①59.2% ②165.0% ③54.5%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 平成29年度より約6万人で横ばいが続いている。島のPR活動等を強化し入込客の増加を図りたい。				
			【R2年度】 コロナの影響で入込客数が減少しているが、好評で増刷も行った。さらなる入込客の増加を図りたい。				
			【R3年度】 プレミアム付き体験メニュー利用券は、かなり好評で、すぐ完売してしまいベストシーズンでの販売があまりできなかった。販売期間や部数についても検討すべき材料である。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	今後は、アクティビティへの使用を促進できるような取組を検討していきたい。また、実績を踏まえて販売シーズンや部数、内容等を検討しながら滞在型観光をさらに進めていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン戦略的交流促進事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	観光協会や旅行会社とも連携し、旅行客が島内の飲食店や体験プログラム等に利用できる地域商品券を付与し、購入者にアンケートを実施して体験メニュー提供者にフィードバックすることで、新規メニューの開発や既存メニューのブラッシュアップを図り、旅行客の増加による地域活性化を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	8,000	10,000	4,300		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		8,000	10,000	4,300	－	－
	執行額		8,000	4,686	3,165		
	執行率		100.0%	46.9%	73.6%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:①②人③件〕				①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件
	実 績 〔単位:①②人③件〕		69,332	①34,358人 ②3,031人 ③2件	①42,694人 ②3,693人 ③5件		
	達成度				①53.4% ②36.9% ③100.0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 地域商品券の付与やPR活動等の成果もあり、バスツアー等をはじめとした本部港からのフェリーを利用した来島者が増加傾向にある。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来島者数も大幅に減ったため当初予定していた目標を達成出来なかった。				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	新型コロナウイルス収束後を見据え、国頭村等の沖縄北部と連携した旅行商品造成やPR活動等を行い、世界遺産地域からの来島やフェリーを活用した誘客に取り組み、年間を通じた来訪者数や島内での観光消費額の増加に努めたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島来訪機会創出事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	ヨロン島の認知度を向上させ、イメージ戦略によりヨロン島の自然や文化といった魅力をより多くの人に伝えるために、島内の映像クリエイター等と連携して発信力の高い動画を制作するとともに、デジタルマーケティングによる情報分析を行い、ターゲット層の明確化を図り、魅力ある旅行商品造成による観光客の増加を図る。						
予算額・執行額 〔単位:千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	27,088	36,000	8,330		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	27,088	36,000	8,330	—	—
	執行額		24,749	34,105	8,500		
	執行率		91.4%	94.7%	102.0%	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①与論島への入込客数 ②本部港からの入込客数 ③星空等ツアープログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 〔単位:①②人③件〕				①80,000人 ②10,000人 ③5件		①90,000人 ②11,000人 ③10件
	実 績 〔単位:①②人③件〕		69,332	①34,358人 ②3,031人 ③2件	①42,694人 ②3,693人 ③5件		
	達成度				①53.4% ②36.9% ③100.0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 昨年度制作した「Yoron8K」を見て与論に興味を持った視聴者がより具体的に旅行を考えるよう、与論旅行のしかた、現地情報をまとめた動画の制作や、全編与論島ロケのドラマを制作・放映した。				
			【R2年度】 Yoron 8Kを踏まえた上でよりプロモーション力が高く、体験が想起できる動画を制作、YouTube配信・広告などのデジタルマーケティングを実施。また、日本国際観光映像祭と連携し、冬の与論島を舞台とした観光動画4本の制作や、観光事業者による与論島情報発信力を高めるための撮影セミナーを実施。				
			【R3年度】 Youtube広告に加え、Facebook広告、Instagram広告といったメディアMIX型による配信を実施。訴求力の高い動画とInstagramは相性が良く、多くのフォロワー獲得に繋がった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ後の観光需要回復のタイミングに合わせて訴求力の高い動画を中心にFacebook広告、Instagram広告を配信し、興味を持った視聴者を観光協会HP、観光協会SNSへ誘導することで、コアなヨロン島ファンを獲得し、来島者増へ繋げていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ヨロン島ウェルネスプログラム商品造成事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和3年度			
事業主体	与論町		実施市町村名	与論町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	ヨロン島の恵まれた自然環境と島人の優しさを活用し、地元のヨガインストラクターや飲食店、地域おこし協力隊等を巻き込みながら、旅行者に対して「癒やしと健康」を提供する体験プログラム・旅行商品造成や実施ガイドの人材育成及び受入体制の構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	2,000	2,500	2,000		
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	2,000	2,500	2,000	－	－
	執行額		2,000	1,908	2,000		
	執行率		100.0%	76.3%	100.0%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		プログラムコースメニュー開発数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 [単位:件]				5		10
	実績 [単位:件]		1	2	3		
	達成度				60%		
	達成状況 の評価		【R元年度】 エッセンシャルオイルづくり体験やSUPヨガ等、複数のウェルネス体験メニューを組み合わせたモニターツアーを実施し、各メニューの実証実験ができた。				
			【R2年度】 関係事業者との連携体制を構築しつつ、人材育成講習等を実施した。 また、地元食材を活用したウェルネス対応食事メニューの開発を行った。				
			【R3年度】 与論の薬草を活用した薬草サウナテントやお茶体験、海水温熱療法の開発を行った。本事業により、受入体制の構築、体験プログラムの開発や人材育成を推進することができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	開発した旅行商品の動画作成を行い、観光協会HPに掲載している。今後は、これらの動画等を用いたプロモーション活動を行うことでツアーへの誘客を図っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光施設機能強化事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	観光客満足度向上を図るため、観光地でのトイレの洋式化を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		1,418			
		前年度繰越		0	1,418	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,418			
		その他増減					
	計		-	0	1,418	-	-
	執行額				1,503		
	執行率		-	-	106.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足のシェア)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:%】		64		66		
	実 績 【単位:%】			60	47.7		
	達成度				72.3%		
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 事業計画の再検討により繰越事業となったため、実績値減に影響したと推測される。					
		【R3年度】計画どおり村内の観光施設2箇所のトイレを洋式化。本事業により、観光客満足度向上を図るため、観光施設の機能強化を推進することができた。今後も村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。					
		【R4年度】					
【R5年度】							
今後の取組方針	今後も村内観光地トイレの洋式化をすすめ、目標とする満足度向上へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	観光看板設置事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	伊仙町	実施市町村名	伊仙町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光地への誘客に資する観光看板を設置し、観光客の利便性向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		600			
		前年度繰越		0	600	0	0
		翌年度繰越		▲ 600			
		その他増減					
		計	-	0	600	-	-
	執行額				509		
	執行率		-	-	84.8%	-	-
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 [単位:人]				130,000		132,000	
実 績 [単位:人]			80,480	90,915			
達成度				69.9%			
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】 コロナ禍により入込客数に影響がでたものの中間目標に対して61%の達成率であった。					
		【R3年度】 引き続きコロナの影響を受けつつも、達成率70%の結果を出している。 本事業により、観光客の利便性向上を図る一助となった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めている状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面においても魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾地区観光総合案内所整備事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10		
事業内容	観光総合案内所の機能を有した施設を整備し、村の自然環境の特性を生かした体験プログラムを提供し、村民と観光客との交流の場を提供するなど、奄美らしい観光スタイルの構築を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		97,250			
		補正予算					
		前年度繰越		0	97,250	0	0
		翌年度繰越		▲ 97,250			
		その他増減					
		計	-	0	97,250	-	-
	執行額				96,408		
	執行率		-	-	99.1%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]		0	2,000			6,000
	実 績 [単位:人]			0	0		
	達成度			0%	0%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 建設予定地変更等により事業計画を再検討したことから、事業繰越となったため、目標を達成することができなかった。				
			【R3年度】 計画どおり事業を執行し、観光総合案内所の建設が完了した。 本事業により、観光客の受入体制の強化に向けて施設整備を推進すること				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和3年度については、施設整備を完了させることができた。令和4年度は駐車場整備等を完了させ、来訪者増へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ICT及びフリーランス等産業支援拠点施設整備事業							
担当部課			事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市				
事業分類	⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10		
事業内容	本場奄美大島紬の後継者育成及び情報発信拠点としての生産性向上を図るため、空調設備の改修を図るとともに、同館2階部分に奄美市「フリーランスが最も働きやすい島化計画」の推進拠点となる「あまみ働き方ラボ」の整備(リノベーション)を行う。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算		109,826				
		補正予算						
		前年度繰越		0	69,855	0	0	
		翌年度繰越		▲ 69,855				
		その他増減		1				
	計		-	39,972	69,855	-	-	
	執行額			39,971	68,417			
	執行率		-	100.0%	97.9%	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		フリーランス育成者のうち収入を得た人数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 【単位:人】						110	
	実 績 【単位:人】			89	92			
	達成度			80.9%	83.6%			
	達成状況 の 評 価		【R元年度】					
			【R2年度】 令和2年度のフリーランス支援において、8名の新たなフリーランスを創出した。					
			【R3年度】 令和3年度のフリーランス支援において、延べ57名を育成し、うち3名は新たなフリーランスとなった。 施設の更なる活用により、目標達成を目指す。					
			【R4年度】					
			【R5年度】					
今後の取組方針	令和3年度に施設運用が開始され、今後、施設運営手法をブラッシュアップすることにより、情報発信機能・支援体制の構築、ビジネスのマッチング、企業・人材・仕事の誘致、フリーランス発掘・育成にさらに取り組む。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	天城岳登山道周辺整備事業							
担当部課	企画財政課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	天城町		実施市町村名	天城町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10		
事業内容	天城岳登山道入口付近に駐車場, トイレ等を整備する。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース	予算 の 状 況		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			当初予算		30,500			
			補正予算					
			前年度繰越		0	30,500	0	0
			翌年度繰越		▲ 30,500			
			その他増減					
			計	-	0	30,500	-	-
	執行額				30,426			
	執行率		-	-	99.8%	-	-	
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目 標 [単位:人]				130,000		132,000		
実 績 [単位:人]			80,480	90,807				
達成度				69.9%				
達成状況 の評価		【R元年度】						
		【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が大幅に減少した。 用地交渉に不測の日数を要したため、全額を翌年度へ繰越。						
		【R3年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数が減少したため、成果目標 を達成できなかった。繰越事業は、すべて完了した。						
		【R4年度】						
		【R5年度】						
今後の取組方針	世界自然遺産に登録されたことによる観光客の増加を見据え、奄美トレイルや環境省が整備した登山道と一体的にPRし、滞在型観光の促進に努める。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美市滞在促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	コロナ収束後も持続的な奄美観光を実現していくため、奄美満喫ツアーの助成事業の実施をはじめ、体験メニューのブラッシュアップや奄美の魅力の情報発信を行うことなどにより、観光客の満足度向上や滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		338,419			
		前年度繰越		0	184,792	0	0
		翌年度繰越		▲ 184,792			
		その他増減					
		計	-	153,627	184,792	-	-
	執行額			149,661	157,034		
	執行率		-	97.4%	85.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		旅行者の観光満足度(奄美大島中長期観光戦略)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:%】		64		68		
	実 績 【単位:%】			62.2	47.7		
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言や島内感染者確認による事業の一時停止措置など、奄美を取り巻く観光状況は大変厳しい状況であったものの、旅行者の観光満足度については概ね目標を達成している。				
			【R3年度】 満足度低下の要因として、新型コロナウイルス感染症拡大が依然として続いたことによる、観光・飲食面の行動制限(施設閉鎖・時短営業・島外客受入不可)等が影響していると考えられる。また、アンケート聴取方法の拡大によるサンプル数増加や、細かな調査設計の変更も一要因だと分析される(調査主体である観光物産連盟の分析より)。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ感染症で大きなダメージを受けた奄美観光の回復を図り、コロナ収束後の観光満足度の更なる向上や滞在日数の延伸につなげるよう各取組を実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和村奄美満喫ツアー助成事業						
担当部課			事業実施年度	令和2年度～令和3年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美大島への誘客促進に資する2次交通や各目的型観光に対するインセンティブとなる助成を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		2,300			
		前年度繰越		0	1,500	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,500			
		その他増減					
	計		-	800	1,500	-	-
	執行額			141	13		
	執行率		-	17.6%	0.9%	-	-
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		交流人数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目 標 【単位:人】		111		150		200	
実 績 【単位:人】			66	4			
達成度				2.7%			
達成状況 の評価		【R元年度】					
		【R2年度】 新型コロナウイルスの影響により、島外からの利用者が減少となった。					
		【R3年度】 新型コロナウイルスの影響に伴う満喫ツアー利用実績が減少となった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	引き続き、奄美満喫ツアー助成事業を奄美大島5市町村連携して行うことにより、誘客促進及び交流人口の拡大を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	宇検村奄美満喫ツアー助成事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	奄美大島への誘客促進に資する2次交通や各目的型観光に対するインセンティブとなる助成を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース	予算の 状況		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		当初予算					
		補正予算		3,000			
		前年度繰越		0	2,860	0	0
		翌年度繰越		▲ 2,860			
		その他増減					
		計	-	140	2,860	-	-
		執行額		136	193		
		執行率	-	97.1%	6.7%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数のうち、観光客数					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標 【単位:人】		359,780			386,251	
	実績 【単位:人】		260,256	276,565			
	達成度		72%	71.6%			
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 新型コロナの影響により受入客数の大幅減により、事業完了が困難となったため繰越事業となった。実績値についてもその影響が大きい。					
		【R3年度】 前年度に引き続き、新型コロナの影響が大きく、執行することが困難な状況であった。					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	新型コロナ収束のタイミング等を見計らい、奄美大島5市町村連携を図り事業を展開していきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	瀬戸内町	実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	観光客の滞在促進を図るため、奄美満喫ツアーを実施する。また、瀬戸内町のメインコンテンツである「海」を海中清掃によりブラッシュアップし、満足度向上を図るほか、海中清掃の取組やweb配信用のイベントについて動画配信することで、瀬戸内町をPRし、誘客・滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		55,000			
		前年度繰越		0	1,000	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,000			
		その他増減					
		計	-	54,000	1,000	-	-
	執行額			53,078	360		
	執行率		-	98.3%	36.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		瀬戸内町への年間入込客数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】		150,081	160,000	170,000		
	実 績 【単位:人】			93,660	89,365		
	達成度			59%	52.6%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等により、入込客が目標の58. 5%の、93, 660人となった。				
			【R3年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等により、入込客が目標の52. 6%の、89, 365人となった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナ終息後の観光客増に向けて、瀬戸内町のPR活動・情報発信をしていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	龍の郷滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	龍郷町	実施市町村名	龍郷町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	来島者誘致のために地元5市町村が連携し、体験メニューの利用などを目的とした奄美満喫ツアーの助成事業を実施し、観光客の誘客・滞在促進を図る。また、上記ツアーの利用を促進するため、町PR動画コンテンツの制作及びWeb配信により国内外の一般消費者を対象としたプロモーションを実施するほか、新規にプログラムを造成し、モニターツアーを実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算					
		補正予算		15,500			
		前年度繰越		0	10,400	0	0
		翌年度繰越		▲ 10,400			
		その他増減					
		計	-	5,100	10,400	-	-
	執行額			2,963	9,024		
	執行率		-	58.1%	86.8%	-	-
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数のうち、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 【単位:人】			359,780			386,251
	実績 【単位:人】			260,256	276,565		
	達成度			72.3%	71.6%		
	達成状況の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響で人の往来に大幅な制限がかかり、目標達成はならなかった。また、事業の執行にも多くの影響があり、繰越せざるを得なかった。				
			【R3年度】 ツアー助成を実施したほか、町公式観光動画を制作、Webによるプロモーションを展開した。コロナの影響で新規プログラムの造成は実現できなかった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針		町PR動画コンテンツを各方面で活用し、世界自然遺産登録やアフターコロナを見据えた国内外観光客の誘客を促進する。引き続きツアー助成も継続し、観光旅客の来訪及び滞在の促進を図る。					

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島町滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	域内の観光資源を十分に活用する旅行商品を造成し、滞在プランのモニターや広告宣伝等に取り組み、長期滞在者の増加及び体験型滞在プランの充実と満足度の向上を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		7,000			
		前年度繰越		0	1,250	0	0
		翌年度繰越		▲ 1,250			
		その他増減					
	計		-	5,750	1,250	-	-
	執行額			3,278	950		
	執行率		-	57.0%	76.0%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①滞在型プランの企画開発・ブラッシュアップ数 ②体験型観光の参加者数 ③観光客の実態把握数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①コース ②③人】		①9コース ②10人 ③0人	①10コース ②20人 ③100人			①12コース ②60人 ③300人
	実 績 【単位:①コース ②③人】			①6コース ②2人 ③28人	①5コース ②35人 ③35人		
	達成度			①60% ②10% ③28%	①41.7% ②58.3% ③11.7%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 事業計画のうち、宿泊割引がコロナの影響で実施できずに、翌年に繰り越した。				
			【R3年度】 昨年同様にコロナの影響で事業実施のタイミングが掴めなかった。				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	今後はコロナの落ち着いた状況をみて検討していきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	おいでよ！魅惑のアマパゴス事業						
担当部課	企画財政課ふるさと創生室	事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、停滞した観光需要を喚起するため、動画（連作ショートムービー）を制作し、若年層を主なターゲットとしたプロモーションを実施する。また、ショートムービーのロケ地等を結ぶ聖地巡礼マップにより町内を周遊し、かつ、ショートムービーを視聴した観光客に対して、町内宿泊施設に宿泊した場合に使用できるクーポン券を発行し、滞在型観光を促進する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		18,476			
		前年度繰越		0	15,222	0	0
		翌年度繰越		▲ 15,222			
		その他増減					
	計		-	3,254	15,222	-	-
	執行額			3,210	15,155		
	執行率		-	98.6%	99.6%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①徳之島への入込客数 ②天城町公式YouTubeの視聴件数 ③天城町公式Instagramのフォロワー数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①人②③件】		①128,000人 ②一 ③一		①130,000人 ②1,000件 ③500件		①132,000人 ②3,000件 ③1,000件
	実 績 【単位:①人②③件】			①80,480人 ②823件 ③418件	①90,807人 ②91,110件 ③712件		
	達成度				①69.9% ②9,111.0% ③142.4%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により入込客数は大幅に減少したものの、公式YouTube視聴件数や公式Instagramフォロワー数は順調に伸びている。業務の一部が翌年度へ繰越となったため、感染状況を注視しながら事業推進に取り組む。				
			【R3年度】 前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、入込客数は目標を下回ったものの、ショートムービーの公開に伴い、町公式YouTubeや公式Instagramは目標値を大幅に達成することができ、観光PRに繋がった。また、旅んちゅチケット（クーポン券）についても即完売となり、高評価であった。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症の収束により、滞在型観光客の増加が期待されており、世界自然遺産の島をアピールし、観光客の集客に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	長寿と子宝のまち滞在型観光促進事業						
担当部課	きゅらまち観光課	事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	伊仙町	実施市町村名	伊仙町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	コロナ収束後の観光客の増加を図るため、島外在住の方へ町公式サイトやSNS等で伊仙町をPRする。また、島内で宿泊し、かつ、町内観光地、観光施設、観光イベント等での体験についてのアンケートに回答した観光客に対し、町内で使用可能なクーポン券を発行し、更なる滞在促進を図る。さらに、アンケート結果を基に、町内で実現可能な滞在型観光ツアーの企画・開発を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		51,000			
		補正予算					
		前年度繰越		0	30,930	0	0
		翌年度繰越		▲ 30,930			
		その他増減					
		計	-	20,070	30,930	-	-
	執行額			20,070	30,025		
	執行率		-	100.0%	97.1%	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		徳之島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:人】		128,000人		130,000人		132,000人
	実 績 【単位:人】			80,480人	90,807人		
	達成度				69.8%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 コロナ禍の中だったが、61%の達成率であった。				
			【R3年度】 引き続きコロナの影響を受けつつも、達成度70%の結果を出している。 本事業により、町のPRやクーポンの発行し、観光客の滞在促進を図ることができた。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	コロナが収束に向かいつつ、社会的にも人々の移動が許容され始めている状況にある。今後は世界自然遺産を核として歴史文化面においても魅力発信を強化し、観光客の受け入れ態勢を整え、受け入れ客の増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	高付加価値オープンエア型プログラム創出事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度～令和3年度				
事業主体	和泊町	実施市町村名	和泊町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	沖永良部島の自然や魅力を生かし、屋外での開放的なプログラム（オープンエア型プログラム）の造成と、それに伴う観光産業従事者の人材育成を進める。また、訴求力の高い動画制作やインターネットを通じたプロモーション及び旅費助成キャンペーンを実施する等、多角的な観光施策を実施することで、新型コロナウイルスの影響で落ち込んだイメージと客足の回復を図るとともに、沖永良部島の自然、食、人のすばらしさを伝え、観光産業を発展させていく契機とする。さらに、来島者に対し、属性（性別、年代、発地、訪問回数、同行者等）や滞在の満足度や消費額、訪れたスポット等について継続的に収集し、分析・可視化できるシステムの導入を進めることにより、顧客ニーズに合わせた観光施策の展開を持続可能なものにしていく。						
予算額・執行額 〔単位：千円〕 ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		36,000			
		前年度繰越		0	3,000	0	0
		翌年度繰越		▲ 3,000			
		その他増減		43			
	計		－	33,043	3,000	－	－
	執行額			33,043	1,580		
	執行率		－	100.0%	52.7%	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		沖永良部島への入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位：人】		90,617		100,000		105,000
	実 績 【単位：人】			51,936	55,773		
	達成度				55.8%		
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 コロナ禍に対応したオープンエアな新規プログラムの作成、リアルタイム集計が可能な来訪者動向に関するモニタリングシステムの導入、デジタルマーケティングに基づいて制作・配信した動画の600万回超の再生など、着実な成果を得ている。一方、事業構想時は入り込み客数の増を目標値としていたが、新型コロナウイルスの影響が想定と比べ非常に深刻かつ広範であったため、現時点で達成は非常に困難であることが苦慮されており、むしろ令和元年度並に入り込み客数を短い期間で回復させられるかが重要であると考えられる。				
			【R3年度】 緊急事態宣言やまん延防止措置等の影響により、R2年度に予定していた旅費助成等の一部事業実施ができなかったため、R3年度に繰り越して実施した。作成した動画やデジタルマーケティングの結果、多くのテレビロケ等の誘致につながるとともに、アンケートモニタリングシステムのサンプルも多く取得することができ、観光振興の基盤構築の一助になったと考えられる。				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	本事業で作り上げたコンテンツやシステムを活用し、アフターコロナの誘客を促進し、早期のの入込客数の回復を図る						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	海洋世界遺産ロード構築事業(世界遺産「奄美・沖縄一屋久島」を結ぶ航路支援事業)						
担当部課	交通政策課		事業実施年度	令和元年度～令和2年度			
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	世界自然遺産を目指す「奄美・沖縄」と世界自然遺産登録地の「屋久島」間の周遊性を向上させるため、両地域を結ぶ航路の運航費に対し助成を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	8,400	8,400			
		補正予算	0	▲ 1,200			
		前年度繰越	0	0			
		翌年度繰越	0	0			
		その他増減	0	0			
		計	8,400	7,200	-	-	-
	執行額		7,502	5,554			
	執行率		89.3%	77.1%	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		屋久島寄港便の利用者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		600		1,200		1,800
	実 績		378	281			
	達成度		62.5%	23.4%			
	達成状況 の評価		【R元年度】 支援の実施により、運航事業者は当初「乗船予約20名以上」としていた寄港条件を「1名以上」に引き下げ、寄港回数の増加につながっているところ。				
			【R2年度】 支援の実施により、寄港回数の増加につながっていたが、コロナの影響により、一部期間(令和2年4月17日～5月31日)が運行休止となり、対前年度で実績が減少している。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	R2年度未終了。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島流通効率化事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和2年度			
事業主体	市町村		実施市町村名	与論町			
事業分類	②農業の生産性の向上に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	与論島への貨物船定期運航に向けて必要となる貨物コンテナ等の導入を支援する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	27,558	22,409			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	1			
	計		27,558	22,410	－	－	－
	執行額		5,471	22,410			
	執行率		19.9%	100.0%	－	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		与論町における生産牛飼養頭数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:頭]				5,450		5,500
	実 績 [単位:頭]		5,520	5,669			
	達成度						
	達成状況 の評価		【R元年度】 畜産農家数は減少しているものの、農家の規模拡大志向により、当初より大幅増頭となっている。				
			【R2年度】 令和2年度の飼養頭数は5,669頭であり、令和5年度の目標を上回る実績となった。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	畜産農家数が減少傾向にあり、それに伴う飼養頭数の減少が懸念されるが、貨物船による安定した飼料供給を続け、飼養頭数の維持拡大を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美らしい滞在型・着地型観光推進事業(GTFS整備)						
担当部課	—		事業実施年度	令和2年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島内のバスやフェリー等の公共交通機関を利用する観光旅客の利便性の向上を図るため、「標準的なバス情報フォーマット(GTFS)」を活用し、時刻表などの運行情報をスマートフォンなどで検索できるよう、Google等の経路検索サービス提供者に情報提供を行う仕組みを整備する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算		526			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		—	526	—	—	—
	執行額			518			
	執行率		—	98.5%	—	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島への入込客数の内、観光客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			359,780			386,251
	実 績 [単位:人]			301,523			
	達成度			83.8%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 群島内の公共交通機関(バス)へ作成したデータを提供済み。 令和3年度10月現在、Googleマップにて「島バス(奄美大島)」の情報が確認出来る。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
【R5年度】							
今後の取組方針	Google等経路検索サービス提供者との契約は各公共交通機関がそれぞれ行う必要があるため、本事業は作成したデータの提供をもって終了。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾岳周辺整備事業						
担当部課		事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	宇検村	実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	国立公園特別保護地域である湯湾岳の展望台周辺施設整備等を実施し、観光客増加への対応を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算		17,800			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減		2,000			
		計	-	19,800	-	-	-
	執行額			19,800			
	執行率		-	100.0%	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		湯湾岳公園への年間来訪者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				6,000		6,500
	実 績 [単位:人]			3,729			
	達成度			62.2%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	瀬田海海浜公園休憩施設整備事業						
担当部課	きゅらまち観光課		事業実施年度	令和2年度			
事業主体	伊仙町		実施市町村名	伊仙町			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	瀬田海海浜公園の休憩施設整備を行う。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算		27,000			
		補正予算					
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		-	27,000	-	-	-
	執行額			26,990			
	執行率		-	100.0%	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		奄美群島全体における入込客数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]			887,895			
	実 績 [単位:人]			514,862			
	達成度			58.0%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 コロナ禍であったが58%の達成状況であった。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	今後は世界自然遺産の登録もあり、観光客の受け入れ態勢と整え受け入れ客の増加を図りたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	大和村集落まるごと体験事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和2年度			
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	奄美群島への誘客促進を目的として、集落をフィールドとした島暮らし体験や島人との交流を軸とした奄美らしい観光地づくりの取組に対し、支援を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	33,000	8,000			
		補正予算					
		前年度繰越	0	25,000	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 25,000				
		その他増減	0	111			
	計		8,000	33,111	—	—	—
	執行額		8,000	33,111			
	執行率		100.0%	100.0%	—	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①体験事業による受入人数 ②奄美らしい観光プログラム数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:①人②]		384	①2,000人 ②60件	①2,500人 ②85件		①3,000人 ②100件
	実 績 [単位:①人②]		1,010	①2,096人 ②70件			
	達成度		263%	①105% ②117%			
	達成状況 の評価		【R元年度】 大和村観光メニューの創出や事業者の育成・確保、誘客効果をもたらすイベント開催が定着しつつあり、良好な流れが生まれている。				
			【R2年度】 コロナ渦という非常に観光事業者にとっては非常に厳しい社会環境であったが、島内需要喚起を活発に行った結果、目標値を達成することが出来たとともに島内在住者のリピーターの確保という側面も生まれ、アフターコロナでの更なる交流人口の増加が期待される。 また、ウミガメ公園整備を行うための測量・設計業務及び土地の造成工事等を行い、令和3年度完成に向けて整備を推進し、完成後には観光滞留時間の向上が期待される。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	島内リピーター獲得により、島内在住者に対しても「大和村観光」が十分にPR出来たものと考えており、この良好な流れをコロナ収束後の島外観光客の確保に努めることを目的に更なる観光外貨獲得に向けて体験メニューのブラッシュアップ及び宿泊事業者の量的・質的確保を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	世界ジオパーク認定に向けた奄美群島連携事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和2年度			
事業主体	喜界町		実施市町村名	喜界町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	喜界島サンゴ礁科学研究所と連携し、ジオパーク認定に向け、先進地の情報を収集するとともに、認定の大きな要素の一つである「機運の醸成」を図るために講演会やジオガイド育成勉強会、ジオサイトの選定を実施する。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	5,409	10,732			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	169				
	計		5,578	10,732	—	—	—
	執行額		5,578	6,567			
	執行率		100.0%	61.2%	—	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①ジオガイドの育成数 ②講演会の受講者数 ③ジオツアーへの島外からの参加者				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 【単位:人】				①21人 ②270人 ③5人		①35人 ②450人 ③7人
	実績 【単位:人】		①7人 ②65人	①10人 ②0人 ③0人			
	達成度			①47.6% ②0.0% ③0.0%			
	達成状況 の 評価		【R元年度】 ジオガイドは年に7名の育成を目標としているため今年度は概ね達成できたが、講演会は年90人程度の目標に対し65名にとどまった。				
			【R2年度】 講演会はコロナ感染症の影響で実施できなかった。ジオツアーは島内の方のみで行った。4か所のジオサイトに看板設置を行った。				
【R3年度】							
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	ジオと喜界島の暮らしにあるものとの繋がりに興味を持ってもらうことが大切だと考えている。そのため「機運の醸成」を目的としたジオガイドの育成や広報誌やHPIによるPR、児童向けのパンフレット作成などに取り組んでいきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美・トカラ連携喜界馬復活・活用プロジェクト						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和2年度			
事業主体	喜界町		実施市町村名	喜界町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	十島村と連携し、かつて島民の生活を支えた喜界馬を復活させ、貴重な財産として保存、育成するとともに、地域の特徴を生かした観光や郷土教育での活用を推進し、地域活性化を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	4,616	5,425			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0	85			
		計	4,616	5,510	—	—	—
	執行額		3,649	5,510			
	執行率		79.1%	100.0%	—	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①郷土教育学習の開催回数 ②喜界島への年間の入込客数 ③喜界馬を活用したプログラム数 ④プログラム参加者数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				①3回 ②65,000人 ③1件 ④15人		①5回 ②70,000人 ③3件 ④45人
	実績		①1回 ②59,634人	①0回 ②45,848人 ③3件 ④33名			
	達成度			①0% ②70.5% ③300.0% ④220.0%			
	達成状況 の評価		【R元年度】 郷土教育学習は年1回開催を目標としているため今年度は達成できたが、入込客は平成29年度より約6万人で横ばいが続いている。喜界馬も活用し、島のPR活動等を強化して入込客の増加を図りたい。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により郷土教育学習が実施出来ず、入込客数も大幅に減少した。喜界馬活用プログラムでは、島外旅行代理店ツアーの一部に取り入れて頂いた。島内外の個人観光・見学者は約800名程度であった。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和2年度は繁殖の関係で2頭目を導入することが出来なかったため令和3年も引き続き2頭目の帰郷を目指し、喜界馬を活用した観光振興に取り組むと共に、島に住む子ども達の郷土教育学習を今後も実施する。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	徳之島スポーツアイランド推進事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和2年度			
事業主体	徳之島町		実施市町村名	徳之島町			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	スポーツ団体及び文化合宿を対象に、合宿支援事業を実施し、スポーツ合宿地としての定着化を促進するとともに、スポーツコミッション組織の育成や地域経済の活性化、交流人口の増加を図る。また、講師を招待しての講演会やスポーツ教室等を開催し、競技力の向上とスポーツ人口の拡大や育成につなげる。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	2,000	652			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	2,000	652	—	—	—
	執行額		1,154	532			
	執行率		57.7%	81.6%	—	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①スポーツ教室・講演会の参加者数 ②スポーツ合宿受入延べ人数 ③新規合宿団体受入数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				①400人 ②2,000人 ③1団体		①500人 ②2,500人 ③3団体
	実績		①303名 ②1,780名	①0名 ②717名 ③1団体			
	達成度			①0.0% ②35.9% ③100.0%			
	達成状況 の評価		【R元年度】 台風接近による合宿の中止や期間短縮等の変更があったが、トップアスリートによる講演会や実技指導は当初計画通り実施できた。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より合宿団体は減ったがPCR検査受診の上2団体受け入れることができた。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	合宿地としての定着化と新規団体の獲得を目指し、民間事業者による誘致活動の活発化や受入体制の構築を目指さなければならない。各種セミナー等への参加や意見交換等、連携の強化に努める。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	合宿日本一の”島”推進事業						
担当部課	商工水産観光課	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	天城町	実施市町村名	天城町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	アスリートが快適にトレーニングできる環境を整備するための施設整備や、トップアスリートを招いたスポーツ教室、講演会等を開催し、「日本一のスポーツ合宿の島」として、住民や民間を巻き込みながらスポーツを活用した徳之島観光の新たな魅力の創出や着地型観光につなげ、全体の産業振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算	17,400	5,200			
		補正予算					
		前年度繰越	0	11,400	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 11,400				
		その他増減	0	52			
		計	6,000	16,652	-	-	-
	執行額		6,000	16,652			
	執行率		100.0%	100.0%	-	-	-
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		①合宿受入延べ人数 ②合宿受入団体数 ③新規団体の受入数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標				①7,000人 ②42団体 ③3団体		①7,200人 ②44団体 ③5団体
	実績		①7,043人 ②46団体	①5,569人 ②37団体 ③1団体			
	達成度			①79.6% ②88.1% ③33.3%			
	達成状況の評価		【R元年度】 後年度の目標値まで達成したことは評価できる。今後さらなる受入態勢の強化・環境の整備を図る。				
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染症の影響により一部合宿のキャンセル等があったものの、前年実績と比較しても最小限の減少幅で済んだ。 今後さらなる受入態勢の強化・環境整備を図る。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	誘致活動や広報・PRを積極的に行い、合宿受入の増加を図るとともに新規種目の合宿誘致のために受入態勢の強化・環境の整備を行う。またスポーツ教室や講演会を行い交流人口の増加に努め、スポーツを通じた産業振興を図る。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	小さな島でもでっかいスポーツ環境創出プロジェクト事業						
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	6/10	
事業内容	沖永良部島におけるスポーツコミッション組織の育成やスポーツ環境の課題調査、スポーツ合宿による他地域との交流等を支援し、スポーツを通じた産業振興を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算	5,111	5,220			
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	0	0	0	0
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
	計		5,111	5,220	—	—	—
	執行額		5,111	5,220			
	執行率		100.0%	100.0%	—	—	—
	成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①スポーツ指導者の育成数 ②スポーツ振興による新たな雇用創出数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標 【単位:人】			①2人 ②2人				
実績 【単位:人】		①1人 ②0人	①2人 ②2人				
達成度			①100% ②100%				
達成状況 の評価		【R元年度】 多くの指導者に来島いただき講習会を実施したことは評価するが、島内での指導者育成や雇用創出を図る。					
		【R2年度】 コロナ禍の中、地元指導者の育成に重点を置き、オンラインなど用いた講習会を行った。また、新たな雇用が出来たことは大いに評価できる。					
		【R3年度】					
		【R4年度】					
		【R5年度】					
今後の取組方針	独自で講習会や運動教室等を行えるように人材育成や雇用の創出を図る。また、収益を見込めるイベントの開催を目指し、持続的かつ有効的なイベントの開催を行う。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	喜界町体験型・滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	喜界町	実施市町村名	喜界町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	観光アプリを開発し、観光地までの道案内やシマ歩きツアーの紹介、スタンプラリーの実施などアプリの多彩な機能を活用し、楽しみながらシマを巡る体験型観光を提供する。また、観光アプリの開発に併せ、1泊以上宿泊し、アプリ開発のためのアンケート調査に協力した方を対象にクーポン券を贈呈し、滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算の状況	当初予算					
		補正予算		9,310			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		-	9,310	-	-	-
	執行額			8,781			
	執行率		-	94.3%	-	-	-
成果目標及び達成状況	アウトカム指標		喜界島への年間の入込客数の増加				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標【単位:人】				65,000		70,000
	実績【単位:人】			45,848			
	達成度			70.5%			
	達成状況の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 観光アプリの導入を行った。管理運営が今後の課題である。					
		【R3年度】					
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	アプリ内の写真などの充実化を図り、アプリの利用促進に繋げる。 また、3DARを今年度導入することによりさらなる入込客数増加、体験型観光の促進に繋げていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	チナ泊・チナあしびブラッシュアップ事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	知名町	実施市町村名	知名町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	6/10		
事業内容	島民・旅行者に対しモニターツアーをはじめとしたブラッシュアップ事業を展開することで、旅行者の誘客や満足度向上による滞在促進を図り、コロナ収束後の持続的な知名町の観光産業の発展を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		5,000			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	5,000	-	-	-
	執行額			2,877			
	執行率		-	57.5%	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		来訪者の満足度				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:%】						54.3
	実 績 【単位:%】			57			
	達成度			105.0%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 コロナ禍での取り組みとなり、島民向けの体験プログラムや宿泊プログラムにおいては一定の実績を残せたが、島外からのモニターツアーは実施を見送り課題を残した。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	島民向けに実施した体験プログラムや宿泊プログラムにおいて収集したアンケート結果を基に、現状のプログラムの長所や短所、課題等を整理し、より良いサービスの提供につなげる必要がある。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	島の魅力発見事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	与論町	実施市町村名	与論町				
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	6/10
事業内容	ヨロン島の魅力を発信するため、動画制作やエコツアーLIVE配信試行を実施するほか、ヨロン島旅行商品にエコツアー体験や与論島内で使えるクーポン券を付与することで、旅行者の来訪意欲の創出と滞在期間の延長、消費喚起を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状況	当初予算					
		補正予算		4,500			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
	計		-	4,500	-	-	-
	執行額			3,565			
	執行率		-	79.2%	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		入込客数の合計が増加する(ビジョンの成果指標と整合) ※新型コロナウイルスの影響を加味し、現況値の6割程度の入込客数にとどめることを目指す。(4-5月の入込客数対前年比90%減)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標 【単位:人】		70,000	42,000			
	実績 【単位:人】			34,358			
	達成度			81.8%			
	達成状況 の評価	【R元年度】					
		【R2年度】 島内エコツアー体験の動画制作を行い、(一社)ヨロン島観光協会のHP等で動画配信を行った。入込客数に関しては、概ね達成出来た。					
		【R3年度】					
【R4年度】							
【R5年度】							
今後の取組方針	今回の島内エコツアー体験動画制作や配信したデータを活かし、島内の観光業者等と連携をし、今後も体験メニューの造成を行うことで、入込客数の増加につなげたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島エコツーリズム魅力体験事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島広域事務組合			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップを図るとともに、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の制作配信による観光客（インバウンド含む。）へのPR及びモニターツアーを実施することで、観光客の誘客、満足度向上及び滞在促進を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		22,900			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	22,900	-	-	-
	執行額			16,646			
	執行率		-	72.7%	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①奄美群島への入込客数の内、観光客数 ②エコツアーのプロジェクト数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 【単位:①人②個】			①359,780人 ②10個			①386,251人 ②20個
	実 績 【単位:①人②個】			①301,523人 ②8個			
	達成度			①83.8% ②80.0%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 認定エコツアーガイドと地域通訳案内士が連携したモニターツアーの実施や新たにエコツアーのPR動画を制作した。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和2年度事業終了						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	奄美群島滞在型観光促進事業						
担当部課		事業実施年度	令和2年度				
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島広域事務組合			
事業分類	④観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	6/10	
事業内容	あまみシマ博覧会の助成を行うことで滞在促進の流れを作る。さらに、ワーケーションを行うことで奄美群島に来島する観光客の増加を図り、滞在型観光促進につなげていく。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算					
		補正予算		29,597			
		前年度繰越		0	0	0	0
		翌年度繰越					
		その他増減					
		計	-	29,597	-	-	-
	執行額			14,886			
	執行率		-	50.3%	-	-	-
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①あまみシマ博覧会プログラム実施利用者数 ②ワーケーションの参加人数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標		①2,803人		①3,500人		①6,000人
	【単位:人】		①0人		②100人		②200人
	実 績			①1,367人			
	【単位:人】			②33人			
	達成度			①39.1%			
				②33.0%			
	達成状況 の評価		【R元年度】				
			【R2年度】 ワーケーション参加企業数23社33人、あまみシマ博覧会助成参加人数183人となった。コロナ渦でのキャンセルが相次ぎ、想うような実績には至らなかった。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	ワーケーション実証のための事業となることから、本年度にて終了。今後の可能性を見極めていきたい。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	内海公園自由広場整備事業							
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10	
事業内容	奄美市住用地区の内海公園自由広場内の休憩施設等の整備及び安全対策を実施することにより、同公園及び周辺施設の利用者数の向上を図り、当該地区を地域観光の拠点とする。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	13,792					
		補正予算	0					
		前年度繰越	0	13,792	0	0	0	
		翌年度繰越	▲ 13,792					
		その他増減	0	208				
	計		0	14,000	－	－	－	
	執行額		0	14,000				
	執行率		－	100.0%	－	－	－	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		整備を行う内海公園自由広場の他、隣接する三太郎の里、農林産物加工センター、木工センターの利用者数を含めた、内海周辺エリア全体の施設利用者数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:人]				13,000		15,000	
	実 績 [単位:人]		16,962	24,221				
	達成度			161.5%				
	達成状況 の評価	【R元年度】 内海公園自由広場において整備を行っていた遊具の設置工事が繰り越しとなったため、同事業についても翌年度へ繰越を行った。						
		【R2年度】 内海公園自由広場遊具設置工事完了に伴い、パーゴラ、ベンチ、転落防止柵等の整備を行ったことで、より安全かつ利用満足度の高い施設となった。						
		【R3年度】						
		【R4年度】						
		【R5年度】						
今後の取組方針	R2年度7月完成。今後は、当該地区の観光拠点としての活用を推進していく。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	マングローブパーク駐車場整備事業						
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和2年度			
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市			
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10	
事業内容	「黒潮の森マングローブパーク」は世界自然遺産登録時にはコアゾーン中心位置にある。同施設の駐車場収容台数を拡充する事により、訪れる観光客へのサービス向上を目指し、観光拠点としての充実を図る。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	57,124				
		補正予算	0				
		前年度繰越	0	57,124	0	0	0
		翌年度繰越	▲ 57,124				
		その他増減	0				
		計	0	57,124	－	－	－
	執行額		0	57,124			
	執行率		－	100.0%	－	－	－
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		マングローブパークの利用者数 (カヌー+資料館)				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標 [単位:人]				45,000		50,000
	実 績 [単位:人]		36,602	15,072			
	達成度			33.5%			
	達成状況 の 評価		【R元年度】 R2年度へ繰越				
			【R2年度】 普通車80台、大型車6台、身障者用4台分の駐車スペースを増設し、従来の約2倍の駐車が可能となったことで、キャパシティ不足の問題が解決した。しかしながら、コロナウイルス感染症にかかる観光客の減少や、施設閉館等の影響で利用者は大きく減少した。				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	R3年3月に完成。今後の島内唯一の道の駅として観光・教育・サービスエリアとしての機能増進につなげていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	国直うみがめ公園整備事業							
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	大和村		実施市町村名	大和村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10	
事業内容	国直うみがめ公園の園地整備等を実施し、観光客受入体制の強化を図る。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	13,447					
		補正予算	0					
		前年度繰越	0	13,447	0	0	0	
		翌年度繰越	▲ 13,447					
		その他増減	0	440				
	計		0	13,887	－	－	－	
	執行額		0	13,887				
	執行率		－	100.0%	－	－	－	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		体験事業による年間受入人数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:人]				1,200		1,500	
	実 績 [単位:人]		1,010	2,096				
	達成度			139.7%				
	達成状況 の評価	【R元年度】 地元との調整に時間を要したため、測量設計業務のみの実施となったが、令和2年度において園地整備を行う。						
		【R2年度】 舗装・植栽・照明灯・小規模遊具の設置を行ったが複合遊具等は未設置であり、次年度継続して整備推進を図る。						
		【R3年度】						
		【R4年度】						
【R5年度】								
今後の取組方針	「国直ウミガメ公園」を継続的に整備することにより、乳幼児や低年齢の子どもが楽しめる環境をつくることで、家族連れの観光客等への誘客促進を図っていく。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	湯湾岳展望台整備事業							
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	宇検村		実施市町村名	宇検村				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10		
事業内容	国立公園特別保護地域である湯湾岳の展望台周辺施設整備等を実施し、観光客増加への対応を図る。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	135,898					
		補正予算	0					
		前年度繰越	65,000	135,898	0	0	0	
		翌年度繰越	▲ 135,898					
		その他増減	131	602				
	計		65,131	136,500	—	—	—	
	執行額		65,131	136,500				
	執行率		100.0%	100.0%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		湯湾岳公園への年間来訪者数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:人]				6,000		6,500	
	実 績 [単位:人]		6,757	3,729				
	達成度			62.2%				
	達成状況 の評価	【R元年度】 LCC効果による観光客増加のため湯湾岳公園への来訪者も増加したと考えられ、令和5年度の目標値を上回る実績値となった。						
		【R2年度】 再整備工事において通行止を行ったため、実績値の大幅な減となった。						
		【R3年度】						
		【R4年度】						
		【R5年度】						
今後の取組方針	すべての関連事業が完了したため、令和3年度以降は来訪者が大幅に増加すると考えられる。今後も情報発信や施設の管理を徹底し、目標達成へとつなげたい。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	加計呂麻芝集落海水浴場トイレ・シャワー施設整備事業							
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	瀬戸内町		実施市町村名	瀬戸内町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10	
事業内容	加計呂麻島は観光客が増加傾向にあり、トイレ・シャワー施設を設置することにより、観光客等の利便性を高める。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	28,000					
		補正予算	0					
		前年度繰越	0	28,000	0	0	0	
		翌年度繰越	▲ 28,000					
		その他増減	0	308				
	計		0	28,308	－	－	－	
	執行額		0	28,308				
	執行率		－	100.0%	－	－	－	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		加計呂麻島を訪れる観光客数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:人]				57,132		64,192	
	実 績 [単位:人]		46,736	38,832				
	達成度			68.0%				
	達成状況 の評価		【R元年度】 R2年度へ繰越					
			【R2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響で、昨年度比83.1%の38,832人となった。					
			【R3年度】					
			【R4年度】					
			【R5年度】					
今後の取組方針	施設整備を行ったことで芝集落海水浴場の利便性が良くなっており、観光協会等を通じて積極的な情報発信を行うことで、観光客受入増加を目指す。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	なごみの岬公園休憩施設整備事業							
担当部課	—	事業実施年度	令和元年度～令和2年度					
事業主体	徳之島町	実施市町村名	徳之島町					
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業			交付率	5/10			
事業内容	観光客等へ対応したイベント及びレクリエーションの場の整備として、奄美トレイル徳之島町コースに不足している休憩施設の整備・拡充を行い、交流人口拡大を図る。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	22,403					
		補正予算	0					
		前年度繰越	0	22,403	0	0	0	
		翌年度繰越	▲ 22,403					
		その他増減	0					
	計		0	22,403	—	—	—	
	執行額		0	22,143				
	執行率		—	98.8%	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		団体利用希望者の申請件数					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:件]				35		65	
	実 績 [単位:件]		0	6				
	達成度			17.1%				
	達成状況 の評価		【R元年度】 町単独費用による既存施設の解体。					
			【R2年度】 設計監理委託 期間: R2.4.28～R2.12.15 休憩施設整備工事 期間: R2.7.17～R2.12.15					
			【R3年度】					
			【R4年度】					
【R5年度】								
今後の取組方針	休憩施設が整備されたことにより、施設利用者が増えることが予想される。 今後は施設の周辺整備を検討していく。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	災害時医療体制強化事業							
担当部課	－		事業実施年度	令和元年度～令和2年度				
事業主体	奄美市		実施市町村名	奄美市				
事業分類	⑦イ. 防災対策の推進に関する事業 ⑦ウ. 医療の確保に関する事業					交付率	5/10	
事業内容	過去に発生した水害の影響で現在、医師が診療所から離れた場所に居住している現状のため、災害等の緊急時に即時対応できるよう、診療所の近隣に新たに医師住宅を整備する。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	0					
		補正予算	47,800					
		前年度繰越	0	47,800	0	0	0	
		翌年度繰越	▲ 47,800					
		その他増減	0	1,232				
	計		0	49,032	－	－	－	
	執行額		0	49,032				
	執行率		－	100.0%	－	－	－	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標			0.03km, 1分				
	実 績		12km, 20分	0.03km, 1分				
	達成度			100%				
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和2年度に全額繰越のため該当なし					
			【R2年度】 令和3年1月7日に完成し、災害時における医師住宅から診療所までの移動距離及び所要時間の削減を達成できた。					
			【R3年度】					
【R4年度】								
【R5年度】								
今後の取組方針	令和3年1月7日 災害等の緊急時に即時対応できるようになった。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	ハザードマップ更新事業							
担当部課	総務課	事業実施年度	令和元年度～令和2年度					
事業主体	奄美市	実施市町村名	奄美市					
事業分類	⑦イ. 防災対策の推進に関する事業			交付率	5/10			
事業内容	防災・減災意識醸成のため、現ハザードマップ(H24作成)を、新しく定められた警戒区域や表示方法に更新し、見やすく活用しやすいマップを作成配布する。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	0					
		補正予算	10,000					
		前年度繰越	0	10,000	0	0	0	
		翌年度繰越	▲ 10,000					
		その他増減	0					
	計		0	10,000	-	-	-	
	執行額		0	10,000				
	執行率		-	100.0%	-	-	-	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		ハザードマップ認知度					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位: %]			100				
	実 績		0	100				
	達成度			100%				
	達成状況 の評価		【R元年度】 更新をする際、洪水による浸水想定区域や津波の遡上想定区域など、ハザードマップに掲載する内容について庁内の他の計画(立地適正化計画等)や関係機関との調整に2ヶ月の不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難となったため、R2へ繰越					
			【R2年度】 R3年度2月納品完了。また、年度内に奄美市全世帯への配布も併せて完了済である。本事業にて、奄美市内のハザードマップ更新事業は100%を達成					
			【R3年度】					
			【R4年度】					
【R5年度】								
今後の取組方針		紙面でのハザードマップは10年毎に見直しを行い、WEB版でのマップにおいては毎年データの更新を行う予定である。(例:新しい土砂災害警戒区域の指定があれば、WEB版へ反映するなど。)						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	育成人材フォローアップ事業						
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度			
事業主体	奄美群島広域事務組合		実施市町村名	奄美群島12市町村			
事業分類	③ 情報通信業における新たな事業機会の創出に関する事業 ④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業 ⑤ 奄美群島の特性に応じた産業の振興に寄与する人材の確保及び育成に関する事業				交付率	5/10	
事業内容	奄美群島成長戦略ビジョン実現事業における育成人材(人材育成事業受講修了者)のフォローアップを行うことにより、育成人材のスキルアップを目指すとともに、認知度の向上を図ること、産業振興を牽引する存在としての社会的地位の向上を目指す。						
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	予算 の 状 況	当初予算	7,843				
		補正予算	0				
		前年度繰越	0				
		翌年度繰越	0				
		その他増減	0				
		計	7,843	—	—	—	—
	執行額		7,835				
	執行率		99.9%	—	—	—	—
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①奄美群島認定エコツアーガイド数 ②奄美群島地域通訳案内士研修終了者数 ③「奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起業及び新商品・サービスの創出」を実現した事業者の2019～23年度累計件数				
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目 標			①115人 ②153人 ③15件			①160人 ②186人 ③40件
	実 績		①109人 ②129人 ③7件				
	達成度		①94.8% ②84.3% ③46.7%				
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年度の①奄美群島認定エコツアーガイド数は109人、②奄美群島地域通訳案内士研修終了者数は129人、③新規起業及び新商品・サービスの創出」を実現した事業者数は7件であった。				
			【R2年度】				
			【R3年度】				
			【R4年度】				
			【R5年度】				
今後の取組方針	令和元年度で本事業は終了となるが、本事業で実施していたSNSプロモーションを拡充し、令和2年度以降は、戦略的情報発信支援事業として、情報発信に特化した事業展開を図っていく。						

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	龍郷町集落観光案内板整備事業							
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度				
事業主体	龍郷町		実施市町村名	龍郷町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業				交付率	5/10		
事業内容	集落ごとの地域資源を伝える観光案内板の整備等を実施し、域内交流人口の拡大と観光客の受入体制の充実を図る。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状況	当初予算	15,120					
		補正予算	0					
		前年度繰越	0					
		翌年度繰越	0					
		その他増減	0					
	計		15,120	—	—	—	—	
	執行額		12,929					
	執行率		85.5%	—	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		閑散期(2月)龍郷町内における滞留人口メッシュ計測地点数(REASAS)					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標 [単位:箇所]				70		80	
	実 績 [単位:箇所]		114					
	達成度		142.5%					
	達成状況 の評価		【R元年度】 令和元年の閑散期(2月)の龍郷町内における滞留人口メッシュ計測地点数は114か所であり、目標値を上回った。					
			【R2年度】					
			【R3年度】					
			【R4年度】					
【R5年度】								
今後の取組方針	集落観光案内看板と集落ガイドブックを連携・活用して、観光客への情報案内ツールとして町内周遊を加速させる。							

奄美群島振興交付金事業計画の実績に関する評価様式

事業名	知名町交流拠点創出事業							
担当部課	—		事業実施年度	令和元年度				
事業主体	知名町		実施市町村名	知名町				
事業分類	④ 観光旅客の来訪及び滞在の促進に資する事業					交付率	5/10	
事業内容	地元住民の暮らしの中心エリア(＝町のヘソ)に、観光客と地元住民の交流拠点の整備等を実施し、「島らしい観光スタイル」の構築を図る。							
予算額・執行額 [単位:千円] ※交付対象事業 費ベース			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	予算 の 状 況	当初予算	9,000					
		補正予算	0					
		前年度繰越	0					
		翌年度繰越	0					
		その他増減	829					
		計	9,829	—	—	—	—	
	執行額		9,829					
	執行率		100.0%	—	—	—	—	
成果目標及び 達成状況	アウトカム指標		①地元住民と会話をした回数 ②今回の目的が終わった後も関係を持ちたい出会いがあった割合					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目 標		①5回 ②5%					
	実 績		①3回 ②46%					
	達成度		①60.0% ②920.0%					
	達成状況 の評価		【R元年度】 住民と会話ができる場(機会)の創出が必要である。ただ、出会いによって今後の関係を持つ意欲になっていることは評価できる。					
			【R2年度】					
			【R3年度】					
【R4年度】								
【R5年度】								
今後の取組方針	地元住民と観光客との交流の場(機会)としては、まだ仕掛けが足りていない。 整備したイナミズゴーきゅらさん公園を拠点とした仕掛けづくりとして、観光農園や案内看板、商店街との連携などに取り組んでいく。							